厚生労働科学研究費補助金　【エイズ対策政策研究事業】
HIV 検査体制の改善と効果的な受検勧奨のための研究
(分担)研究報告書

保健所における HIV 検査・相談の現状評価と課題解決に向けての研究

研究分担者：土屋　菜歩（東北大学東北メディカル・メガバンク機構　予防医学・疫学部門）
研究協力者：佐野　貴子（神奈川県衛生研究所)、今井　光信(田園調布学園大学)、
須藤　弘二、加藤　真吾（株式会社ハナ・メディテック)、
貞升　健志（東京都健康安全研究センター)、大木　幸子（杏林大学)、
川畑　拓也（地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所)、
生島　嗣（特定非営利活動法人ぷれいす東京)、
カエベタ亜矢、関　なおみ、根岸　潤（東京都福祉保健局)、
堅多　敦子（東京都立駒込病院)、城所　敏英（東京都新宿東口検査・相談室)、
今村　顕史（東京都立駒込病院）

研究要旨

本研究は、保健所・検査所における HIV 検査の現状と課題を把握し解決策を検討することを目的とし、1. 全国の保健所等を対象とした HIV および梅毒検査相談体制に関する郵送アンケート調査、2. 保健所における HIV 検査・相談の事例集作成を行った。

2019 年度は、アンケート調査に加え、事例集作成の準備として各地の HIV 検査・相談担当者向け研修会への参加と情報収集を行った。保健所 557 施設中 488 施設（回収率 88%)、特設検査相談施設（特設）18 施設中 15 施設（回収率 83%）から回答を得た。保健所 488 施設で 2019 年の 1 年間に行った HIV 検査の総数は 96,824 件、陽性は 220 件（0.23%)、特設 15 施設における HIV 検査の総数は 28,863 件、陽性は 123 件（0.4%）であった。保健所の 93.2%、特設の 64.3%で梅毒検査を実施しており、梅毒検査での陽性率はそれぞれ 2.1%、3.1%であった。HIV 検査・相談担当者向けの研修では、現場の課題や工夫について聞き取りや意見交換を行った。地域により抱える課題は異なっていたが、他施設との情報共有、コミュニティとの連携等を通して、限られたリソースを活用した解決策を立案できる可能性が示唆された。

2020 - 2021 年度は、COVID-19 パンデミックの影響を大きく受けることとなった。COVID-19 対応で業務が逼迫し HIV 検査・相談の件数の減少が報告される中、2019 年度と同時期の 1 月に郵送でアンケート調査実施した。質問項目は概ね 2019 年度に準じたが、COVID-19 下での HIV 検査・相談実施体制や受検者の特性の変化等に関する設問を追加で設けた。回収率は 2020 年度保健所等で 57%（305/531 施設)、特設で 74%（15/19 施設)、2021 年度は保健所等で 40.5%（212/523 施設)、特設で 82.3%（14/17 施設）と例年よりかなり低かった。2020 年の 1 年間に HIV 検査相談を実施した保健所 303 施設で行った HIV 検査件数は 32,211 件、陽性は 88 件（0.27%)、特設 15 施設での HIV 検査の総数は 20,752 件、陽性は 122 件（0.59%）であった。2021 年の 1 年間に HIV 検査相談を実施した保健所 196 施設で HIV 検査の総数は 18,933 件、陽性は 63 件（0.33%)、特設 14 施設での HIV 検査の総数は 16,537 件、陽性は 125 件（0.76%）であった。COVID-19 の影響で、人員不足や感染対策の難しさを理由に受入れ人数を減らしたり予約制にしたりして検査･相談を実施する施設が増え、一時休止を余儀なくされた施設もあったことが明らかとなった。SNS や自治体と連携して広報を行う等の工夫をしている施設もあった。受検者の検査機会の喪失への懸念も複数の施設から挙げられた。

事例集は当初の予定を変更し、「COVID-19 流行下における HIV 検査･相談体制 - 保健所における対応事例と今後の課題 - 」として作成した。保健所・検査所における検査・相談体制の維持と、今後の有事にも対応できる検査選択肢の拡大についての議論の土台となる資料として周知･配布予定である。

A.研究目的

HIV/エイズ対策において、早期治療による患者の予後改善、二次感染の予防には早期診断が不可欠であり、我が国で 90 - 90 - 90 を達成するためには最初の 90（HIV 感染を診断されること）が重要なポイントとなることが指摘されてきた。我が国の新規発生報告件数に占める AIDS 患者の割合は依然として 30%前後で推移している。保健所等検査施設における無料匿名 HIV 抗体検査の陽性件数はエイズ動向委員会の報告数の約 45%に相当しており、HIV 陽性者同定に重要な役割を担っている。また、男女とも増加している梅毒を含む性感染症の同時検査は、HIV と併せたスクリーニング、予防啓発の機会となり得る。保健所・検査所における検査の質の向上、地域や受検者の特性に合わせた検査・相談体制の構築が必要とされている。

そこで、本分担研究班は以下を研究目的とした。

1. 全国の保健所等を対象に HIV および梅毒検査相談の実施状況と課題を明らかにする
2. 各地の HIV 検査・相談担当者向け研修会への参加と情報収集を行う。
3. 各地の保健所・検査所における HIV 検査・相談の事例をまとめる。

B.研究方法

1.「保健所・検査所における HIV 検査・相談体制に関するアンケート」、「保健所・検査所における梅毒検査に関するアンケート」調査

2019-2021 年度の 3 年間を通して、毎年 1 月に全国の保健所およびその支所等（以下保健所）の HIV 検査相談施設と南新宿 HIV 検査相談施設等の特設 HIV 検査相談施設（以下特設）を対象に、HIV 検査相談および梅毒検査の実施体制（それぞれ 2019 年 1－12 月、2020 年 1－12 月、2021 年 1 - 12 月の期間）に関する郵送アンケート調査を行った。これらのアンケート調査の質問項目は、過去に実施されたアンケート調査の質問内容、各種報告や学会、論文等の知見を参考にして作成した。主な質問内容は、HIV 検査・相談体制および梅毒検査体制（検査・相談件数、陽性数、実施回数、曜日、即日/通常検査、検査方法など）と実施における課題である。2020 年 2 月以降全国的に COVID-19 の流行が拡大し、HIV 検査・相談にも大きな影響を与えたことが考えられたため、2020 年度と 2021 年度のアンケート調査では、COVID-19 パンデミックによる HIV 検査・相談体制の変化と課題についても追加の質問項目を設けて情報収集を行った。

2. HIV 検査・相談担当者向け研修会への参加と情報収集

自治体で実施された HIV 検査・相談担当者向け研修会（東京、福岡、那覇）、国立保健医療科学院で実施された全国の自治体から担当者が集まる研修会に、オブザーバーまたは講師として参加した。研修の過程または参加者との直接の意見交換から、担当者が抱えている課題や考え得る解決策について情報収集を行った。

3. 各地の保健所・検査所における HIV 検査・相談の事例集作成

COVID-19 パンデミックの状況を踏まえ、当初の予定を変更して「COVID-19 流行下における HIV 検査・相談体制 - 保健所における対応事例と今後の課題 - 」と題した事例集を作成・発行した。エイズ動向委員会、学術論文からのデータおよび研究班による 2020 年度のアンケート調査の結果を用い、保健所・検査所における HIV 検査・相談件数の推移や陽性率の推移を示した。5 か所の保健所・検査所への詳細なインタビューを実施した。さらに、今後の検査機会拡大の可能性として、コミュニティと協働した検査・相談の事例（コミュニティセンターakta による取り組み）、郵送検査実施のための実証研究（北陸における Check72 プロジェクト）についてもそれぞれ

執筆依頼し事例集内に記載した。

C.研究結果

1.「保健所・検査所における HIV 検査・相談体制に関するアンケート」、「保健所・検査所における梅毒検査に関するアンケート」調査

１）「保健所・検査所における HIV 検査・相談体制に関するアンケート」調査

2019 年度は保健所 557 施設中 488 施設（回収率 88%）、特設検査相談施設（特設）18 施設中 15 施設（回収率 83%）と高い回収率であったが、COVID-19 流行の影響を受け、2020 年度、は保健所等で 57%（305/531 施設）、特設で 74%（15/19 施設）、2021 年度は保健所等で 40.5%（212/523 施設）、特設で 82.3%（14/17 施設）と保健所における回収率は大きく低下した。回収率が大きく変化したため、同じ質問項目についても数値データを経時的に単純比較することは難しく、適切ではないと考える。したがって、本報告書においては各年度の結果を資料としてご参照いただきたい。

①HIV 相談・検査の実施体制

2019 年度のアンケートでは、回答の得られた保健所すべてで HIV 検査を実施していたが、2020 年度、2021 年度は回答時に HIV 検査・相談を実施していない施設や相談のみ実施している施設が数%程度あった。保健所では即日検査を実施している施設がどの年度も約 70%を占めていた。特設においては即日検査のみを実施している施設が 75%以上を占めていた。即日検査はほとんどの施設が予約制で実施しており、通常検査でも半数以上が予約制で実施と回答した。スクリーニング検査が陽性だった場合、確認検査は他施設に依頼すると回答した施設が即日検査でも通常検査でも大部分を占め、2021 年度は 80%以上の施設が確認検査は他施設に依頼すると回答していた。平日夜間の検査を実施している保健所は 2019 年で 30.1%、2020 年で 25.7%、2021 年で 23.1%、土日の検査を実施している保健所は 2019 年で 5.5%、2020 年で 4.0%、2021 年で 2.4%と減少傾向であった。

②HIV 検査以外の性感染症検査について

2019 - 2021 年のどの年度のアンケートにおいても、95%以上の保健所と 60%以上の特設で HIV 検査以外の性感染症検査を同時に行っていると回答していた。同時に実施している検査で最も多かったのは梅毒検査であり、特設で HIV 感染症以外の性感染症検査を実施している施設のすべてで梅毒検査を実施していた。次いで多かったのは B 型肝炎、C 型肝炎、クラミジア、淋菌等の検査であった。

③HIV 検査の件数及び陽性数の現状

2019 年の 1 年間に保健所 488 施設で行った HIV 検査の総数は 96,824 件、陽性は 220 件（0.23%）、特設 15 施設における HIV 検査の総数は 28,863 件、陽性は 123 件（0.4%）であった。

COVID-19 流行以降を含む 2020 年の 1 年間に HIV 検査相談を実施した保健所 303 施設で行った HIV 検査件数は 32,211 件、陽性は 88 件（0.27%）、特設 15 施設での HIV 検査の総数は 20,752 件、陽性は 122 件（0.59%）であった。2021 年の 1 年間に HIV 検査相談を実施した保健所 196 施設で HIV 検査の総数は 18,933 件、陽性は 63 件（0.33%）、特設 14 施設での HIV 検査の総数は 16,537 件、陽性は 125 件（0.76%）であった。2020 年と 2021 年については四半期ごとの検査件数を尋ねた。2020 年の 4 - 6 月に検査件数が他の時期よりも少なかった。2021 年は 4 半期ごとの検査件数に差を認めなかった。

ブロック別の集計では、2019 年の HIV 検査数は保健所 129 施設と施設数の最も多い関東甲信越ブロックで 33,028 件と多く、陽性件数も 68 件と最多であった。保健所での HIV 検査陽性率をブロック別に比較すると、九州 0.29%（35/12,170 件）が最も高く、次いで東海 0.25%（35/14,066 件）、近畿 0.25%

（34/21,532）の順であった。2020 年は近畿ブロックで検査件数が最も多く（10,726 件）、陽性件数は関東甲信越ブロックで 30 件（検査数 8,240 件）と最多であった。保健所での HIV 検査陽性率をブロック別に比較すると、九州 0.52%（19/3,668 件）が最も高く、次いで関東甲信越 0.36%（30/8,240 件）、北海道 0.23%（2/856）の順であった。2021 年は検査件数（7,787 件）、陽性数（30 件）とも近畿ブロックが最も多かった。2021 年のブロック別陽性率は、ブロックによる回収率の差が大きく参考としづらいためここでは割愛する。

④年間検査件数別保健所数およびその陽性率

2019 年のアンケートの回答では、保健所においては、年間検査数が 50 件未満の施設が全体の 36.9%（180 施設）を占めた。陽性率は年間検査数 1000 件以上の施設で 0.32%（92/29,122 件）と最も高かった。一方、特設 21 施設においても陽性率が高いのは年間検査数 1000 件以上の施設で、0.44%（109/24,552）であった。

2020 年、保健所においては年間検査数が 50 件未満の施設が全体の 55.6%（168 施設）を占めた。陽性率が最も高かったのは年間検査数 100 - 199 件の施設で 0.34%（19/5,531 件）であった。一方、特設 15 施設においては、陽性例は年間検査数 100 件以上の施設でのみ出ており、陽性率が高かったのは年間検査数 100 - 199 件の施設で、2.52%（3/119）であった。

2021 年、保健所においては、年間検査数が 50 件未満の施設が全体の 62.2%（122 施設）を占めた。陽性例の経験率は年間検査数 500 件以上の施設では 100%であったのに対し、年間検査数が 50 件未満の施設では 7.4%と低かった。一方、特設 14 施設においては、検査数は年間検査数 1000 件以上の施設で行われたものが 75%以上を占めた。

⑤HIV 検査結果の受け取り状況

2019 年、検査結果を受け取りに来なかった受受検者数は保健所での全検査数 96,782 件中 2,038 件（2.1%）であった。検査結果別では、陰性の場合 2.1%（2,017/96,562 件）、陽性の場合 9.5%（21/220 件）が結果を受け取っていなかった。一方、特設では検査結果を受け取りに来なかった受験者数は、全検査数 28,863 件中 500 件（1.7%）であり、陰性の場合 1.7%（491/28,740 件）、陽性の場合 7.3%（9/123 件）であった。

2020 年、検査結果を受け取りに来なかった受検者数は、保健所での全検査数 32,211 件中 1,158 件（3.6%）であった。検査結果別に見ると、陰性の場合 3.6%（1,157/32,128 件）、陽性の場合 1.2%（1/83 件）が結果を受け取っていなかった。特設では検査結果を受け取りに来なかった受験者数は、全検査数 20,752 件中 303 件（1.5%）であり、陰性の場合 1.4%（297/20,630 件）、陽性の場合 4.9%（6/122 件）であった。

2021 年に検査結果を伝えることができた受検者数は、保健所では陽性 59/63 件（93.7%）、陰性 18,147/18,870 件（96.2%）であった。特設で検査結果を伝えることができた受検者数は、陽性 116/125 件（92.8%）、陰性 15,852/16,412 件（96.6%）であった。

⑥陽性者の発生届および医療機関受診把握について

2019 年、施設で陽性者の発生届出を行った割合は、保健所で 39.1%、特設で 70.7%であった。2020 年は保健所の 53.4%、特設の 74.6%、2021 年には陽性のあった保健所で 47.6%、特設では 65.6%で発生届出を行っており、特設でその割合が高かった。発生届を提出する際に CD4 数の記載はしていない施設が半数以上であった。医療機関への紹介状を発行した陽性者の割合は、いずれの年も保健所で約 95%、特設で 80%前後であった。陽性者が医療機関を受診したかどうかわかる仕組みがあると答えた保健所は 60%前後、特設は 80%前後であり、どちらも医療機関からの紹介

状の返信、報告で情報を把握しているという回答が最も多かった。

⑦HIV 検査結果に関する証明書の発行

2019 年、HIV 検査結果についての証明書を発行していると回答した保健所は 35.9%（175/488)、うち 56%（98/175）が有料で証明書を発行しており、費用は 1,000 円～2,000 円が最も多かった（33%)。記名のある証明書を発行している施設は 76%（133/175）であった。

2020 年、証明書を発行していると回答した保健所は 37.6%（114/303)、うち 53.5%（61/114）が有料で証明書を発行しており、発行にかかる料金は 500 円～1,000 円未満が最も多かった（30%)。記名のある証明書を発行している施設は 63.2%（72/114）であった。2019 年、2020 年とも特設で証明書を発行している施設は 1 か所のみで、無料で発行されていた。

2021 年、証明書を発行していると回答した保健所は 33.2%（69/208)、うち 53.6%（37/69）が有料で証明書を発行しており、料金は 1,000 円～2,000 円未満が最も多かった（30%)。記名のある証明書を発行している施設は 69.6%（48/69）であった。アンケートに回答が得られた特設では、証明書を発行している施設は 1 か所もなかった。

⑧受検者について把握している内容

3 年間を通して、保健所においては性別についてはほぼすべての施設で、受検動機、感染機会の時期については 80%以上の施設で把握されていた。受検経験や感染リスク、年齢については 70%以上の施設で把握されていた。検査の情報源、居住地域や性的指向については 50 - 60%の施設で把握されていた。特設においては上記の情報を把握している割合がより高い傾向にあった。受検者の情報を把握するための質問票はほとんどの施設で利用されていた。

⑨結果説明について

保健所において、スクリーニング検査陽性の場合は約 75%、確認陽性の場合は 95%以上の施設で医師が検査結果説明担当者となっていた。陰性の場合には保健師が結果説明を行うという回答が多かった。特設においては、陰性例でも 80%以上（2020 年、2021 年においては 90%以上）で医師が検査結果説明担当者（複数回答のため保健師、看護師が同席している場合もあり得る）となっていた。スクリーニング検査で陰性時に検査結果の説明は口頭のみで行うと回答した保健所は 3 年間を通して半数超、特設では 3 割程度であった。陽性者への対応として専門のカウンセラーの派遣の経験ありと回答した保健所等施設は 10 - 20%、経験はないが可能と回答したのは約 30%であった。特設においては、40 - 50%で派遣経験あり、約 20%で経験はないが派遣可能と言う回答であった。

⑩血液曝露事故が受検動機の受検者について

血液曝露事故が受検動機の受検者がいたと回答した施設の割合は、2019 年には保健所等で 170 件（34.8%)、特設で 5 件（33.3%)、2020 年には保健所等で 70 件（23.1%)、特設で 3 件（20.0%)、2021 年は保健所等で 37 件（17.8%)、特設で 3 件（21.4%）だった。そのうちわけを尋ねたところ、保健所、特設ともに医療職という回答が最も多く、保健所では福祉職、清掃業、美容業における血液曝露が受検動機という回答や警察官、医学生が血液曝露により受検した例があった。

⑪中学生、高校生の受検者への対応

3 年間を通して、保健所では 60%前後、特設では 70 - 80%の施設が中学生、高校生の検査希望者に通常通りの対応を行うと回答した。保護者同伴の条件付きで受け入れる、陽性時のみ保護者同伴で説明・相談、説明のみ保護者同伴、など施設によって受け入れや対応が異なっていることが明らかになった。

⑫日本語のわからない外国籍の人の受検

日本語のわからない外国籍の人が受検できる仕組みがあると回答した施設の割合は、各

年度とも保健所で約 40%、特設では 2019 年、2020 年は約 40%、2021 年には 57.1%であった。

対応言語は英語が最も多く、次いで中国語、韓国語、ポルトガル語、スペイン語、タイ語等の割合が多くなっていた。対応方法として 2019 年は外国語問診票・説明書によるものが最も多かったが、2020 年と 2021 年においては通訳システムや翻訳アプリの利用が上回り、約 4 割の保健所で利用されていた。

⑬やむを得ず検査・相談の受け入れを断った経験

やむを得ず検査・相談の受け入れを断った経験の有無および断った理由を尋ねた。2019 年は保健所の 42.4%（207/488）が「ある」と回答し、理由として「定員数の超過」が 80%を超え、「日時の調整ができない」が 12%（25/207）で続いていた。特設では「時間に大幅に遅れた」との理由も挙げられた。2020 年、2021 年は約 55%の保健所で受け入れを断った経験が「ある」と回答し、「定員数の超過」に次ぐ理由として「COVID-19 の影響のため」が多かった。特設では 70%前後がやむを得ず検査・相談の受け入れを断った経験を有し、うちわけは保健所とほぼ同様であった。2020 年、2021 年においては COVID-19 の影響もあってか「発熱症状があったため」を理由として挙げた施設もあった。

⑭検査・相談に関わる担当者の研修や再教育の機会の有無

2019 年に設けたこの質問に対して「検査・相談に関わる担当者の研修や再教育の機会がある」と回答した施設の割合は、保健所等で 96.9%（473/488）、特設で 73.3%（11/15）であった。保健所の検査・相談担当者の研修・再教育の機会として最も多かったものは、自治体主催の研修で 66.4%（314/473）、次いでエイズ予防財団の研修 45.7%（216/473）であった。特設でも同様の傾向であったが、自施設内での研修と回答した施設が 5 件あった。

⑮ホームページ「HIV 検査・相談マップ」の利用について

保健所でホームページ「HIV 検査・相談マップ」を閲覧したことがあると回答した施設の割合は 3 年間を通して 90%前後と高く、2019 年には保健所の 77%、2020 年と 2021 年においても約 67%の施設 が役に立つと回答した。特設においては、すべての施設がホームページ「HIV 検査・相談マップ」を閲覧したことがあり、かつ役に立つと回答していた。2021 年のアンケート調査において、COVID-19 により HIV 検査の日程変更・中止があった際に「HIV 検査・相談マップ」に修正依頼を送ったと回答した保健所は 19.7%（41/208）、特設は 57.1%（8/14）であった。

⑯課題と工夫

自由記載で HIV 検査相談の課題について尋ねた。複数の施設から挙がった課題として、受検者数（特に若年層）の減少、予算や人員の不足による体制維持の難しさ（十分な時間がとれない、検査のみでカウンセリングや相談ができない、スペースの問題でプライバシーの確保が難しい）、MSM 等ハイリスク層への周知方法、リピーター受検者への対応、日本語を話せない外国籍者への対応、結果を受け取りに来ない受検者への対応があった。陽性例経験の少ない保健所からは、陽性例への対応経験が少ないことに対する不安も挙げられた。ウェブサイト予約を導入した施設からは、無断キャンセルの問題も挙がった。PrEP に関する相談が増加しているため PrEP の正しい情報をまとめて見られる資料や公式サイトが必要などの指摘もあった。

工夫している点として、SNS での情報発信、受検者同士が顔を合わせないようプライバシーに配慮した動線や部屋の設定、NPO 法人等との協働、対応する職員の知識やスキルを標準化するためのマニュアル作成などさま

ざまな方法が挙げられた。

２）「保健所・検査所における HIV 検査・相談体制に関するアンケート」調査－COVID-19 が HIV 検査・相談体制に与えた影響について -

2020 年、2021 年に COVID-19 が HIV 検査・相談体制に与えた影響について尋ねた。

①COVID-19 流行による検査・相談の実施体制の変化

2020 年には保健所の 69.6%（211/303）、2021 年には 64.9%（135/208）が「COVID-19 流行による検査・相談の実施体制の変化があった」と回答した。変化の内容（複数回答可）として多かったのは「回数を減らして実施」「一時（検査・相談を）休止したが再開」であり「受け入れ人数を減らして実施」が続いた。実施体制変更の理由としてはどちらの年度も「人員の不足」が約 7 割を占め、次に多かったのは「密を避けることが難しい」であった。

特設では 2020 年は 86.3%（13/15）、２０２１年には 86.7%（12/14）の施設が「変化があった」と回答し、その内容としては「受け入れ人数を減らして実施」、「一時休止したが再開」が多かった。実施体制変更の理由で最も多かったのは「密を避けることが難しい」が半数以上を占めた。

②HIV 検査・相談受検者の属性の変化

「HIV 検査受検者の属性（セクシュアリティ、年齢、リピーターなど）は変化したと感じる」と回答した保健所は 2020 年で 303 施設中 12 施設（4%）、2021 年は 208 施設中 11 施設（5.6%）、特設では 2020 年は 15 施設中 7 施設（46.7%）、2021 年は 14 施設中 4 施設（28.6%）と異なる結果であった。変化の内容として、保健所では 2021 年に「管轄外の地域からの受検者の増加」が多く挙げられた。特設では「MSM の割合が増加した」「初回受検者が減り、リピーターの割合が増えた」等が挙げられた。

③翌年の HIV 検査・相談の実施予定

翌年の HIV 検査・相談の実施予定を尋ねたところ、保健所では「従来通りに実施する」が最も多く（2020 年 46.9%, 142/303、2021 年 58.2%, 121/208）、「流行の状況により検討」、「受け入れ人数を減らして実施予定」、「未定」が続いていた。特設では、「従来通りに実施する」が 2020 年で 46.7%（7/15）、2021 年で 71.4%（10/14）、「流行の状況により検討」「完全予約制で実施」が続いた。

④COVID-19 流行下における今後の HIV 検査・相談の課題と工夫

多種多様な課題が挙げられた。2020 年は COVID-19 対策業務増加による人員不足、検査・相談時の感染対策物品不足、密の回避に十分なスペースの不足など資源の不足に関するものが多かった。その他、HIV 検査・相談が匿名であるため COVID-19 感染や濃厚接触が疑われた場合の追跡ができない、予約に対応できる枠が確保できず検査機会の減少を招いてしまっていることへの懸念、減少した検査・相談の機会を補う選択肢（郵送検査など）の提供の必要性、スタッフの研修が COVID-19 の影響で開催できずに苦労している、などが挙げられた。2021 年には、検査機会の確保の難しさ、（感染対策上）対面でのカウンセリングや相談に時間がかけられない、受検者にとってもスタッフにとっても安全に検査・相談が実施できるような体制構築（委託先とのすり合わせ）などが挙げられた。社会や医療が混乱している時期だからこそ、HIV 検査・相談で医療や支援につなげる活動が重要であるという指摘もあった。

2021 年には COVID-19 下の検査・相談で工夫している点を尋ねた。工夫の内容は感染対策が最も多く、密を避けられるような人数設定や場所の確保、来所前と当日の体調確認や検温、換気などが挙げられた。検査普及週間やエイズデーなどのイベント時期に他施設と

合同で夜間検査を実施したという回答もあった。

3）「保健所・検査所における HIV 梅毒検査・体制に関するアンケート」調査

①梅毒検査実施率

アンケートを回収できた保健所のうち、2019 年は 488 施設中 455 施設（93.2%）、2020 年は 304 施設のうち 275 施設（90.5%）、2021 年は 212 施設のうち 189 施設（90.9%）が梅毒検査を実施していると回答した。アンケートを回収できた特設においては、2019 年は 14 施設中 9 施設（64.3%）、2020 年は 15 施設中 9 施設（60.0%）、2021 年は 14 施設中 7 施設（50.0%）が梅毒検査を実施していた。

②梅毒検査の実施形態

HIV 検査と一緒の場合のみ梅毒検査が受けられる施設と、梅毒検査のみ受けられる施設が混在していた。保健所においては、どの年度も 60%以上の施設が梅毒検査単独でも受けられると回答した。特設では梅毒検査単独で受けられる施設は 2020 年にわずか 1 か所のみであった。梅毒検査を実施している施設すべてにおいて梅毒検査は無料だったが、梅毒検査を実施している保健所の約 1 割の施設では梅毒検査が有料であり、受検者が負担する金額は 500～1000 円が最も多かった。保健所等ではどの年度も通常検査のみでの梅毒検査を行うと回答した施設が 60%以上であった。特設では通常検査での梅毒検査実施と即日検査での実施、結果返却の両方があった。通常検査の場で梅毒検査をした場合の結果返却の時期は 1 週間が最も多かった。

③梅毒検査の方法

梅毒検査を即日検査で実施している保健所では、STS 法と TP 抗体検査を同時に実施している施設が最も多く（2019 年 85/174 施設 48.9%、2020 年 44/89 施設 49.4%、2021 年 36/68 施設、52.9%）、次いで TP 抗体検査のみ実施が多かった。STS 法のみ実施、STS 法で陽性だった場合 TP 抗体検査を追加実施、という保健所もあった。通常検査を実施している保健所では、STS 法と TP 抗体検査を同時に実施している施設の割合が 70 - 80%台を占めた。特設では、STS 法と TP 抗体検査を同時に実施している施設、TP 抗体陽性だった場合に STS 法を追加、または STS 法と TP 抗体法の両方を追加で実施すると回答した施設と回答が分かれた。

2019 年に使用している検査試薬を尋ねたところ、保健所でも特設でもは STS 法では RPR カードテストが 83.9%と大半を占め、TP 抗体法では通常検査で実施している施設は TPHA 法、即日検査で実施している施設は TPIC 法を採用している施設が最多であった。

④梅毒検査陽性者数

梅毒検査を実施している保健所において、2019 年は全体の梅毒検査数 79,147 件のうち、梅毒陽性は 1,637 件（2.1%）、2020 年は検査数 26,902 件中陽性 762 件（2.8%）、2021 年は検査数 15,902 件のうち陽性 599 件（3.8%）であった。特設においては、2019 年は全体の梅毒検査数 23,728 件のうち陽性 732 件（3.1%）、2020 年は 18,629 件のうち陽性は 1,176 件（6.3%）、2021 年は検査数 14,347 件のうち陽性 521 件（3.6%）であった。

⑤陽性者への対応

梅毒陽性となった受検者への対応としては、保健所等施設、特設検査相談施設どちらも受診勧奨が 90-%と最も多く、次にパートナーの受検勧奨、紹介状の発行が多かった。梅毒検査結果の証明書の発行をしていると回答した施設は、保健所で 26.6%（121/455）であり、うち約 53%が有料であった。証明書発行にかかる料金は、500 円～2000 円未満が最も多かった。証明書は記名式であると答えた施設が 60%以上を占めた。特設においては、梅毒検査結果の証明書を発行している施設は 2019 年、2020 年とも 2 施設ずつあり、どち

らも無料であった。2021 年に回答を得た特設では証明書を発行している施設はなかった。

⑥課題

自由記載で梅毒検査の課題を尋ねた。課題として、結果を聞きに来ない受検者で追跡ができないこと、過去に既往がある受検者への説明の難しさ、若年層への周知の必要性、梅毒検査目的で受検する HIV 陽性者や医療機関で治療中の受検者への対応等が挙げられた。検査結果の解釈に関するわかりやすい資料の希望、梅毒が再感染する感染症であることの周知の必要性の指摘もあった。

2. HIV 検査・相談担当者向け研修会への参加と情報収集

以下の研修会にオブザーバーまたは講師として参加し、参加者が担当地域で抱えている課題や解決のための取り組みについて詳細な情報収集を行った。

① 国立保健医療科学院 HIV 検査・相談担当者向けエイズ対策研修（全国の自治体から担当者が参加）
近隣自治体担当者同士で課題の抽出と解決策を検討するグループワークを通して、情報・リソースの共有が有効である可能性が示唆された。

② 福岡県 HIV 検査・相談担当者研修（外国人対応をテーマとした研修）
外国人留学生を相手に、やさしい日本語を用いた検査説明のロールプレイを行った。ウインドウピリオドの説明などに苦慮する場面が見られ、必要な情報をわかりやすい日本語で伝える訓練が日ごろから必要であることが明らかになった。

③ 沖縄県 HIV 検査・相談担当者研修（MSM コミュニティと共同での研修）
コミュニティセンター担当者から、主に MSM の検査・相談のポイントとなる点やニーズについて、これまでの蓄積データから説明があった。医療機関、行政、コミュニティをつなぐコーディネーターが新たな制度として導入されており、今後の活躍が期待される。

3. 各地の保健所・検査所における HIV 検査・相談の事例集作成

COVID-19 下における保健所・検査所の HIV 検査・相談事業の実施状況とその詳細を「COVID-19 流行下における HIV 検査・相談体制 - 保健所における対応事例と今後の課題 - 」と題し事例集としてまとめた。エイズ動向委員会や学術論文の報告から国内の検査件数および陽性件数の推移を示し、昨年度の本研究班のアンケート結果から COVID-19 下での検査・相談実施体制の変化や内訳をまとめた。HIV 検査・相談の実施件数は COVID-19 流行下で大きく減少しており、その背景には逼迫する保健所の人員不足や、検査・相談の場での感染対策の難しさなどがあったことが明らかになった。検査・相談を継続していた保健所でも、予約制にして受け入れ人数の制限を設けたり、実施日数を減らしたりしていた施設が多かった。検査日の変更や休止後の再開の周知方法等に課題や葛藤を抱える施設もあった。

協力の得られた 5 か所の保健所、検査所に対し、詳細なインタビューを行った。地域や施設によっても、受検者の特性の変化や検査・相談体制の工夫に違いがあることがわかった。また、コミュニティとの協働や郵送検査など、新たな検査機会拡大の可能性についても記載した。

D.考察とまとめ

3 年間の研究期間のうち、2020 - 2021 年の約 2 年間が COVID-19 流行下の時期と重なり、分担研究としても公衆衛生学的危機とも言える状況下で保健所・検査所における HIV

検査・相談を改めて考察するきっかけとなった

全国の保健所（保健所およびその支所等)、特設検査相談施設を対象としたアンケート調査には 2019 年は 557 施設中 488 施設（回収率 87%)、18 施設中 15 施設（回収率 83%）から回答を得た。保健所業務の逼迫していた 2020 - 2021 年にはアンケートの回収率は大きく低下したが、課題や工夫も含め多くの情報を得ることができた。

2019 年の 1 年間に保健所 488 施設で行った HIV 検査の総数は 96,824 件、陽性は 220 件（0.23%)、特設 15 施設における HIV 検査の総数は 28,863 件、陽性は 123 件（0.4%）であった。2020 年の 1 年間に HIV 検査相談を実施した保健所 303 施設で行った HIV 検査件数は 32,211 件、陽性は 88 件（0.27%)、特設 15 施設での HIV 検査の総数は 20,752 件、陽性は 122 件（0.59%）であった。2021 年の 1 年間に HIV 検査相談を実施した保健所 196 施設で HIV 検査の総数は 18,933 件、陽性は 63 件（0.33%)、特設 14 施設での HIV 検査の総数は 16,537 件、陽性は 125 件（0.76%）であった。回収できた施設の結果のみから見ると、陽性率は上昇傾向にあるように見える。エイズ動向委員会の報告によると、2020 年、2021 年の検査数は 2019 年と比較し約半数近くに落ち込んでおり、新規報告者数も減少したが、AIDS 発症者の割合は 30% 超と増加している。アンケート回収率の低さを考慮すると本研究班でのアンケート調査結果から結論づけることは難しいが、無症状者やこれまで検査を受けたことが無い者の検査受検が減っている可能性がある。

保健所で検査の休止や制限を余儀なくされた時期には、ブロック別の集計では 2019 年は九州ブロックの陽性率が高く、東海、近畿が続いていた。2020 年と 2021 年には COVID-19 パンデミックが検査件数に与えた影響に地域差が認められ、近畿ブロックでの検査件数、陽性件数が多かった。MSM を対象とした先行研究では、居住地以外で検査を受ける者が少なくないことが指摘されており、検査を受けた場所と居住地が必ずしも一致していない可能性もある。受検行動の詳細に関する検討や今後の変化についての評価が引き続き必要である。

保健所全体でみると、年間の検査件数 50 件未満の施設が多かった。検査数、陽性例の経験が少ない保健所については、研修会等でのロールプレイ、他施設やコミュニティとの情報共有が担当者の不安を軽減するのに役立つと考える。

どの年度においても一定数結果を受け取っていない受検者、陽性判明後の医療機関受診が把握できていない者が見られた。陽性者で結果を受け取っていない者の中には、すでに HIV 感染が分かっていて治療中の受検者が含まれる可能性はあるものの、検査→診断→医療機関受診のカスケードから感染者が脱落しないような体制づくりが必要である。

受検者について把握する質問票を用いている施設は多かったが、把握している内容にはばらつきも見られた。受検者から得られる情報により、相談やカウンセリング、説明の内容も異なってくる可能性がある。限られた時間の中で受検者の特性、ニーズを把握することは容易ではないが、即日検査ガイドラインにも掲載されている質問票例などを参考に、ある程度の統一性をもって必要な情報が把握できることが望ましい。受検者の特性や行動に変化がみられるようであれば、質問項目の見直しも随時必要になるだろう。

以前から課題として挙げられることが多かった日本語を話さない外国人への対応については、通訳の他、翻訳アプリを使用する自治体が増加していることが明らかになった。翻訳アプリも使い方に慣れる必要があり、平時から効果的な利用方法を担当者間で確認・検討しておくことで、実際使用する際のトラブル等を未然に防ぐことができると考える。ま

た、先行して同様の通訳アプリを導入した自治体からの情報共有も有効であろう。

「やむを得ず検査・相談の受け入れを断った経験」については、保健所で約 4 割、特設で約 6 割の施設が「経験あり」と回答していた。断った理由については、「定員を超過した」「日時の調整ができない」が多く。COVID-19 流行後は COVID-19 の影響を挙げた施設が多かった。受検者が検査・相談のタイミングを逸してしまうことのないよう、1 か所の施設で受け入れが難しくとも、近隣で条件が合う施設のマッチングや紹介などができる横の連携も検討する余地があると考える。「繰り返しの受検」で検査・相談を断ってしまうことは、定期的に検査が必要なハイリスク層の検査機会を奪ってしまうこととなり望ましくない。現行の即日検査ガイドラインにも「リピーター」と呼ばれる受検者への対応として記載されているが、研修会や学会等での周知をより広く行っていきたい。

課題として挙げられている内容は、アンケートでも研修会でも同様であったが、研修会では検査・相談の担当者が感じている問題点をより詳細に把握することができた。COVID-19 における検査・相談においては、平時の課題と別に感染対策や人数、時間の調整の難しさも課題として挙げられた。事例集におけるインタビュー結果も併せてみると、地域や施設により抱えている課題が異なる可能性も示唆された。地域性や施設の規模に合わせた検査体制モデルを構築することが必要である。

保健所等施設、特設検査相談施設での梅毒検査での陽性率は低下を認めておらず、梅毒流行がまだ収束していないことを示している。ただし、梅毒検査の方法や使用している試薬は施設により異なっており、治癒例も含まれている可能性があるため、陽性率の評価、解釈には注意が必要である。

研修会での意見交換やアンケートの回答、事例集のインタビュー結果から、調査結果やお互いの施設の状況を現場スタッフが広く共有できる機会を研究班としてサポートしていくことの重要性も明らかになった。COVID-19 流行下では対面の研修会や情報交換、予防啓発の機会も減少している。ウェブサイトや SNS なども活用した情報のアップデートや双方向のコミュニケーションも強化していきたい。コミュニティとの協同、自治体との連携が不可欠であることから、研究班が橋渡しの役割を担う形で自治体や保健所・検査所との情報交換・共有を行うことは効果的な対策の立案・実装に役立つと考える。

COVID-19 は、未だ収束が見えていない状況である。検査機会の喪失を防ぎ、検査機会の拡大を図るため。郵送検査やさらなるコミュニティとの協働など、新たな HIV 検査・相談の体制作りを検討する必要性が高まっていると言える。無料・匿名で対面による相談・検査ができ、医療機関の受診までつなげることができる保健所検査の長所を生かしながら、地域の状況や受検者の特性、ニーズに合わせた検査機会が提供できる仕組み作りが望まれる。

E.健康危険情報

なし

F.研究発表

1. 論文発表

なし

2.学会発表

1）土屋菜歩、佐野貴子、近藤真規子、堅多敦子、石丸雄二、城所敏英、カエベタ亜矢、川畑拓也、貞枡健志、須藤弘二、加藤真吾、大木幸子、今井光信、今村顕史：保健所・検査所における梅毒検査実施状況および陽性率に関するアンケート調査. 第 33 回日本エイズ学会学術集会・総会、2018 年 11 月熊本市（口演）

2）土屋菜歩、佐野貴子、近藤真規子、堅多敦子、石丸雄二、城所敏英、カエベタ亜矢、川畑拓也、貞枡健志、須藤弘二、加藤真吾、大木幸子、今井光信、今村顕史：保健所・検査所における HIV 検査・相談体制と実施状況および課題に関するアンケート調査. 第 33 回日本エイズ学会学術集会・総会、2019 年 11 月熊本市（口演）

3）土屋菜歩、日高庸晴、大北全俊、渡會睦子、今村顕史：日本の就労成人男性における HIV/エイズおよび性感染症関連意識と行動に関するアンケート調査.　第 33 回日本エイズ学会学術集会・総会、2019 年 11 月熊本市（口演）

4）土屋菜歩、佐野貴子、カエベタ亜矢、関なおみ、城所敏英、根岸潤、堅多敦子、川畑拓也、貞枡健志、須藤弘二、加藤真吾、大木幸子、生島嗣、今井光信、今村顕史：保健所・検査所における梅毒検査実施状況および陽性率に関するアンケート調査. 第 35 回日本エイズ学会学術集会・総会、2020 年 11 月（口演）

5）土屋菜歩、佐野貴子、カエベタ亜矢、関なおみ、城所敏英、根岸潤、堅多敦子、川畑拓也、貞枡健志、須藤弘二、加藤真吾、大木幸子、生島嗣、今井光信、今村顕史：保健所・検査所における HIV 検査・相談体制と実施状況および課題に関するアンケート調査. 第 35 回日本エイズ学会学術集会・総会、2020 年 11 月（口演）

6）土屋菜歩：COVID-19 流行下で見えてきたこと - 不確かさ、不安と向き合う. 第 35 回日本エイズ学会学術集会・総会、2020 年 11 月（シンポジウム）

7）土屋菜歩、佐野貴子、カエベタ亜矢、城所敏英、関なおみ、、根岸潤、堅多敦子、川畑拓也、貞枡健志、須藤弘二、加藤真吾、大木幸子、生島嗣、今井光信、今村顕史：保健所・検査所における梅毒検査実施状況および陽性率に関するアンケート調査. 第 36 回日本エイズ学会学術集会・総会、2021 年 11 月（口演）

8）土屋菜歩、佐野貴子、カエベタ亜矢、城所敏英、関なおみ、根岸潤、堅多敦子、川畑拓也、貞枡健志、須藤弘二、加藤真吾、大木幸子、生島嗣、今井光信、今村顕史：保健所・検査所における HIV 検査・相談体制と実施状況および課題に関するアンケート調査. 第 36 回日本エイズ学会学術集会・総会、2021 年 11 月（口演）

9）土屋菜歩：COVID-19 が保健所・検査所における HIV 検査・相談体制に与えた影響. 第 36 回日本エイズ学会学術集会・総会、2021 年 11 月（シンポジウム）

G.知的所有権の取得状況

なし

謝辞

忙しい中、研究事業にご協力いただいた全国の保健所および特設検査相談施設の皆様、自治体のみなさまに深く感謝申し上げます。

保健所における HIV 検査体制に関する調査(R1年)

1. 貴保健所ではHIV検査相談を行っていますか？ (n=488)

はい	488件	100.0%
いいえ	0件	0.0%

アンケート送付数	557
回収数	488
回収率	87.6%

2. HIV検査実績について

2019年1～12月の実施状況をお教え下さい。 (n=488)

① HIV検査件数

検査数	96,824
うち陽性数	220
陽性率	0.23%

陽性経験数

陽性者があった保健所	106件	21.7%
陽性者がなかった保健所	381件	78.1%
未記入	1件	0.2%

年間検査件数別保健所数

年間検査数	保健所数		検査件数		陽性数	陽性率	陽性経験率	陽性経験数
全体	488		96824		220	0.23%	21.7%	106
50件未満	180	36.9%	3,878	4.0%	4	0.10%	2.2%	4
50-99件	90	18.4%	6,502	6.7%	9	0.14%	10.0%	9
100-199件	92	18.9%	12,894	13.3%	19	0.15%	16.3%	15
200-499件	78	16.0%	23,862	24.6%	50	0.21%	44.9%	35
500-999件	31	6.4%	20,566	21.2%	46	0.22%	83.9%	26
1000件以上	17	3.5%	29,122	30.1%	92	0.32%	100.0%	17

② HIV検査結果を聞きにこなかった受検者数と%

	陰性で聞きに来なかった人		陽性で聞きに来なかった人		検査件数	陽性数	陰性数	聞きに来ない
全体	2,017	2.1%	21	9.5%	96,782	220	96,562	2,038
即日検査のみ	361	1.0%	9	9.3%	37,801	97	37,704	370
即日検査+通常検査	892	2.4%	7	8.9%	37,071	79	36,992	899
通常検査のみ	764	3.5%	5	11.4%	21,910	44	21,866	769

③ 発生届出を行った陽性者数 **86人** **(39.1%)**

④ 陽性者のうち、医療機関への紹介状を発行した数 **210人** **(95.5%)**

⑤ 医療機関を受診したことを把握できている陽性者数: **167人** **(83.9%)**

保健所における HIV 検査体制に関する調査(R1年)

3. HIV検査・相談事業について

① HIV検査の際にHIV以外の性感染症検査を一緒に行っていますか？

行っている	**477件**	**97.7%**	
→毎回	424件	88.9%	**(n=477)**
→毎回ではないが定期的	21件	4.4%	
→一部は定期的	17件	3.6%	
→希望者のみ	23件	4.8%	
行っていない	**11件**	**2.3%**	

「行っている」と答えた保健所 → 実施している性感染症検査項目に〇をしてください。 **(n=477)** 複数回答

梅毒	**455**	**95.4%**
クラミジア抗原または抗体	**253**	**53.0%**
淋菌	**51**	**10.7%**
B型肝炎	**326**	**68.3%**
C型肝炎	**318**	**66.7%**
HTLV-1	**18**	**3.8%**

② HIV検査結果の連絡・受け渡しについて

2019年1月以降HIV/性感染症検査に関して誤った結果を通知したことはありましたか？ (n=488)

なかった	**484**	**99.2%**
あった	**2**	**0.4%**
⇒HIVについてあった	0	0.0%
⇒STIについてあった	2	0.4%

③HIV検査陰性の証明書を発行していますか？ (n=488)

発行していない	**307**	**62.9%**	
発行している	**175**	**35.9%**	
（うち希望者のみ発行）	37	**21.1%**	
（うち結果通知書発行）	3	**1.7%**	
→料金は？			
無料	63	36.0%	(n=175)
有料	98	56.0%	
金額→ 500円未満	13	13%	
500～1,000円未満	29	30%	
1,000円～2,000円未満	32	33%	
2,000円以上	23	23%	
記名式ですか？			
→はい	133	76.0%	
→いいえ	32	18.3%	

④HIV検査の陽性者が医療機関を受診したかどうか分かる仕組みがありますか？(複数回答)

ない	**175**	**35.9%**	(n=488)
ある	**306**	**62.7%**	
→紹介状の返信、医療機関からの報告	**244**	**79.7%**	
→受診医療機関に確認	**16**	**5.2%**	
→同伴受診	**19**	**6.2%**	
→本人の連絡先を把握	**3**	**1.0%**	
→医療機関と受診調整を行う	**22**	**7.2%**	
→検討中	**3**	**1.0%**	

保健所における HIV 検査体制に関する調査(R1年)

4. 受検者に関する情報収集・対応状況等について

① 受検者について把握している内容に〇を付けて下さい　(n=488)　複数回答あり

性別	480	98.4%
年齢	357	73.2%
年代	230	47.1%
居住地域	243	49.8%
受検動機	428	87.7%
受検経験	378	77.5%
感染リスク	343	70.3%
性的指向	238	48.8%
感染機会の時期	418	85.7%
今回の検査の情報源	334	68.4%
その他	55	11.3%

② 受検者の情報を把握するための質問票などを用いていますか？　(n=488)

用いていない	40	8.2%
用いている	447	91.6%
未回答	1	0.2%

③ 職務中の血液暴露事故が受検動機の受検者はいましたか？　(n=488)

わからない、把握していない	100	20.5%
いない	210	43.0%
いる	170	34.8%

→職種	人数	
医療職	205人	61%
福祉職	24人	7%
美容職	3人	1%
清掃業	9人	3%
消防士、救命士	10人	3%
その他	20人	6%
職業不明	66人	20%

④ 中学生・高校生の検査希望者への対応はどのようにしていますか'　(n=488)

通常通り行う	313	64.1%
受け付けない	3	0.6%
検査・告知とも保護者同伴で受付	33	6.8%
告知のみ保護者同伴で受付	23	4.7%
保護者の同意を得られているか	13	2.7%
保護者同伴	7	1.4%
陽性時(緊急時)は保護者に説明	43	8.8%
中学生は保護者同伴か受け付けない	17	3.5%
状況に応じて	15	3.1%
事例なし	9	1.8%
説明を十分に行う	6	1.2%
年齢を把握していない	6	1.2%
未定	16	3.3%

保健所における HIV 検査体制に関する調査(R1年)

⑤ 日本語のわからない外国籍の人が受検できる仕組みがありますか？

ない	292	59.8%	(n=488)
ある	186	38.1%	
未記入		0.0%	
◆言語			
→英語	101	54.3%	(n=186)
→中国語	40	21.5%	
→韓国語、朝鮮語	29	15.6%	
→ポルトガル語	30	16.1%	
→スペイン語	17	9.1%	
→ベトナム語	3	1.6%	
→タイ語	15	8.1%	
→タガログ語、フィリピン語	14	7.5%	
→ロシア語	5	2.7%	
◆方法			
問診票、説明書	70	37.6%	
パンフレット	40	21.5%	
通訳依頼	24	12.9%	
通訳システム、アプリ	52	28.0%	
外国語対応できる人	6	3.2%	
意思疎通をはかり何とか対応	5	2.7%	
日本語のわかる人同席	4	2.2%	
状況に応じて	2	1.1%	

5. HIV検査の実施状況について教えて下さい(通常・即日共に実施している場合は両方の質問にご回答ください)。

② 定期的に行っているHIV検査の実施曜日と実施時間をご記入下さい **(n=488)**

1	通常検査のみ	133	27.3%
2	即日検査のみ	237	48.6%
3	通常+即日	118	24.2%

通常検査を行っている保健所 251
即日検査を行っている保健所 355

A	平日昼のみ検査	314	64.3%
B	平日夜間検査	147	30.1%
C	土日検査(祝日含む)	27	5.5%

1A	通常のみ＋平日昼のみ	116	23.8%
1B	通常のみ＋夜間も行っている	16	3.3%
1C	通常＋土日検査も	1	0.2%
2A	即日のみ＋平日昼のみ	149	30.5%
2B	即日のみ＋夜間も行っている	76	15.6%
2C	即日＋土日検査も	12	2.5%
3A	通常＋即日・平日昼のみ	49	10.0%
3B	通常＋即日・夜間も行っている	55	11.3%
3C	通常＋即日・土日検査も	14	2.9%
		488	

保健所における HIV 検査体制に関する調査(R1年)

A 通常検査の場合　　251保健所

① 実施方法は？　　(n=283) 複数回答

定期	276	97.5%
イベント	13	4.6%

② 曜日と時間は？　　(n=283) 複数回答

曜日		
月	52	18.4%
火	92	32.5%
水	51	18.0%
木	48	17.0%
金	18	6.4%
土、日、祝日	2	0.7%
平日	9	3.2%
随時	5	1.8%
不定	1	0.4%
時間帯		
午前	163	57.6%
午後	101	35.7%
夜間	59	20.8%
月回数		
1回	71	25.1%
2回	89	31.4%
3～4回	93	32.9%
8回以上	8	2.8%
年回数		
1～2回	9	3.2%
4回以上	4	1.4%
③ 予約制ですか？		
はい	175	61.8%
いいえ	107	37.8%

④ 結果返しは？　　(n=251)

6日以内	3	1.2%
1週間後	165	65.7%
1～2週間	20	8.0%
2週間以降	63	25.1%

⑤ スクリーニング検査　実施施設は？　　(n=251)

自施設	56	22.3%
他施設	194	77.3%

⑥ 確認検査の方法は？　　(n=251)

WB法のみ	74	15.2%
2次スクリーニング+WB法	31	6.4%
WB法+NAT法	95	19.5%
2次スクリーニング+WB法+NAT法	46	9.4%
その他	2	0.4%

⑦ 確認検査の実施施設は？

自施設	44	17.5%
他施設	203	80.9%

保健所における HIV 検査体制に関する調査(R1年)

B 即日検査の場合　　355保健所

① 実施方法は？　　(n=442) 複数回答

定期	387	87.6%
イベント	72	16.3%

② 曜日と時間は？　　(n=442) 複数回答

曜日		
月	56	12.7%
火	130	29.4%
水	72	16.3%
木	67	15.2%
金	9	2.0%
土、日、祝日	26	5.9%
平日	19	4.3%
随時	13	2.9%
不定	6	1.4%
時間帯		0.0%
午前	220	49.8%
午後	189	42.8%
夜間	118	26.7%
月回数		0.0%
1回	105	23.8%
2回	119	26.9%
3～4回	105	23.8%
8回以上	9	2.0%
年回数		0.0%
1～2回	9	2.0%
4回以上	4	0.9%
③ 予約制ですか？		
はい	362	81.9%
いいえ	71	16.1%

④ 結果返しは？　　(n=355)

6日以内	39	1.2%
1週間後	135	65.7%
1～2週間	165	8.0%
2週間以降	0	25.1%

⑤ スクリーニング検査の方法は？　　(n=355) 複数回答

イムノクロマト法	49	13.8%
ダイナスクリーン	229	64.5%
エスプライン	65	18.3%
不明	1	0.3%

保健所における HIV 検査体制に関する調査(R1年)

⑥ スクリーニング検査　実施施設は？　(n=355)

自施設	336	94.6%
他施設	19	5.4%

⑦ 確認検査の方法は？

WB法のみ	64	13.1%
2次スクリーニング+WB法	69	14.1%
WB法+NAT法	124	25.4%
2次スクリーニング+WB法+NAT法	83	17.0%
その他	5	1.0%

⑧ 確認検査の実施施設は？

自施設	25	7.0%
他施設	322	90.7%

⑨ 確認検査用　検体は？　(n=355) 複数回答

迅速検査残血液	186	52.4%
確認検査用再採血	187	52.7%
迅速検査用と同時	63	17.7%
結果通知後	123	34.6%

6. 結果説明・相談体制について

複数回答　(n=488)

	スクリーニング検査陰性時		スクリーニング検査陽性時		確認検査陰性時		確認検査陽性時	
職種　医師	211	43.2%	358	73.4%	314	64.3%	476	97.5%
保健師	318	65.2%	174	35.7%	240	49.2%	192	39.3%
看護師	33	6.8%	8	1.6%	12	2.5%	5	1.0%
検査技師	21	4.3%	10	2.0%	11	2.3%	8	1.6%
その他(カウンセラー等)	31	6.4%	19	3.9%	23	4.7%	33	6.8%
説明資料　あり	397	81.4%	358	73.4%	365	74.8%	423	86.7%
なし	84	17.2%	51	10.5%	77	15.8%	48	9.8%
配布資料　あり	396	81.1%	358	73.4%	360	73.8%	426	87.3%
なし	83	17.0%	51	10.5%	80	16.4%	45	9.2%

④ 検査結果の説明方法について

複数回答　(n=488)

	スクリーニング検査陰性時		スクリーニング検査陽性時		確認検査陰性時		確認検査陽性時	
口頭のみ	254	52.0%	209	42.8%	209	42.8%	164	33.6%
結果の書面を渡す	232	47.5%	184	37.7%	219	44.9%	268	54.9%
希望者には結果書を渡す	11	2.3%	4	0.8%	5	1.0%	4	0.8%
基本は口頭、希望者には書面を渡す	1	0.2%	0	0.0%	3	0.6%	3	0.6%
紹介状を渡す	0	0.0%	9	1.8%	1	0.2%	53	10.9%
希望者には証明書を発行	2	0.4%	2	0.4%	0	0.0%	0	0.0%
資料(パンフレット)を渡す	1	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
書面を一緒に確認しながら説明する	8	1.6%	8	1.6%	5		5	
この時点での対応はない	0	0.0%	52	10.7%	6	1.2%	2	0.4%

保健所における HIV 検査体制に関する調査(R1年)

⑥ 確認検査陽性者への対応として専門のカウンセラーの派遣は可能ですか？ (n=488) 複数回答あり

	全体		陽性経験保健所(n=106)	
経験あり	86	17.6%	32	30.2%
実績はないが可能	158	32.4%	17	16.0%
できない	181	37.1%	44	41.5%
検討中	14	2.9%	3	2.8%
その他	45	9.2%	10	9.4%
未回答	4	0.8%	0	0.0%

⑦ 確認検査で陽性の場合、貴保健所で発生届を提出していますか？ (n=488) 複数回答あり

	全体		陽性経験保健所(n=106)	
行う	193	39.5%	44	41.5%
行わない	36	7.4%	10	9.4%
医療機関に依頼する	234	48.0%	51	48.1%
未回答	25	5.1%	1	0.9%

7. 検査・実施体制と担当者の研修機会について

① 検査以外に感染予防等に関する相談を実施していますか？ (n=488)

していない	27	5.5%
している	461	94.5%

対象者は？ (n=461)

→全員に	451	97.8%
→陽性者のみ	1	0.2%
→陰性者のみ	0	0.0%
→希望者に	7	1.5%

タイミングは？ 複数回答あり

検査前に	57	12.4%
結果説明後に	44	9.5%
両方に	356	77.2%

具体的手法は？ 複数回答あり

資料配布	248	53.8%
医師対応	154	33.4%
保健師対応	365	79.2%
カウンセラー対応	25	5.4%
その他職員対応	5	1.1%
NGOと連携	1	0.2%
随時電話相談	5	1.1%

保健所における HIV 検査体制に関する調査(R1年)

③ 検査・相談に関わる担当者の研修や再教育の機会はありますか？ (n=488)

ある	**473**	**96.9%**	
自施設内での研修	42	8.9%	(n=473)
自治体主催の研修	314	66.4%	
国立保健医療科学院主催の研修	105	22.2%	
エイズ予防財団主催の研修	216	45.7%	
拠点病院主催の研修	31	6.6%	
支援団体、大学、研究事業など	**15**	3.2%	
ない	**12**	**2.5%**	

8. 検査・相談の受け入れについて

やむを得ず検査・相談の受け入れを断ったことはありますか？ (n=488)

ある	**207**	**42.4%**	
→定員数を超過したため	**169**	**81.6%**	(n=207)
→居住地が管外であるため	**0**	**0.0%**	
→繰り返し受検のため	**10**	**4.8%**	
→外国人対応が困難なため	**5**	**2.4%**	
→日時の調整ができない	**25**	**12.1%**	
→予約がなかった	**3**	**1.4%**	
→ウィンドウ期を過ぎていない	**5**	**2.4%**	
→採血できない	**4**	**1.9%**	
→すでに治療中(症状が出ていた)	**3**	**1.4%**	
→他の緊急業務(災害等)対応のため	**4**	**1.9%**	
→証明を目的としていた	**2**	**1.0%**	
ない	**281**	**57.6%**	

9. その他

①ウェブサイト「HIV検査・相談マップ」をご覧になったことはありますか？

ある	**463**	**94.9%**	(n=488)
ない	**21**	**4.3%**	
未記入	**4**	**0.8%**	

②「HIV検査・相談マップ」は検査相談事業に役立っていると思いますか？

はい	**376**	**77.0%**	(n=488)
いいえ	**2**	**0.4%**	
不明	**105**	**21.5%**	
未記入	**5**	**1.0%**	

保健所における 梅毒検査体制に関する調査(R1年)

1. 貴保健所では梅毒検査を実施していますか？　　(n=488)

実施している	455件	93.2%
実施していない	32件	6.6%
実施の予定	件	0.0%

アンケート送付数　557

回収数	488
HIV検査実施	488
回収率	87.6%

「梅毒検査を行っている」と答えた保健所のみ　　(n=455)

(1)検査体制に関するご質問

① 梅毒検査について、検査費用の自己負担はあります　(n=455)

ある （有料）	51	11.2%	
金額→500円以下	9	17.6%	(n=51)
500～1000円未満	24	47.1%	
1,000円～2,000円未満	16	31.4%	
ない（無料）	418	91.9%	
条件により有料	16	3.5%	

② 梅毒検査単独でも検査を受けることができますか。　(n=455)

梅毒検査単独でも受けられる	301	66.2%
HIV検査と一緒の場合のみ受けられる	157	34.5%

③ 梅毒検査に関する説明・相談に、何らかの資料を使用していますか。　(n=455)

使用していない	55	12.1%	
→必要ない	8	(14.5%)	(n=55)
→適当な資料がない	36	(65.5%)	
使用している	399	87.7%	
→自施設で作成した資料	147	(36.8%)	(n=399)
→HIV検査・相談マップ(もしかして梅毒!?)	62	(15.5%)	
→感染症学会資料(STOP梅毒)	22	(5.5%)	
→県・市作成資料	69	(17.3%)	
→市販パンフレット等	125	(31.3%)	

保健所における 梅毒検査体制に関する調査(R1年)

④ 梅毒検査の実施状況について、教えてください。
（通常・即日共に実施している場合は両方の質問にご回答ください）

(n=455)

通常検査のみで実施	281	61.8%
即日検査のみで実施	130	28.6%
両方実施	44	9.7%

通常検査を行っている	325
即日検査を行っている	174

■検査方法	通常検査 (325件)		即日検査 (174件)		複数回答
① STS法のみ	5	1.5%	13	7.5%	
② STS法とTP抗体検査を同時実施	261	80.3%	85	48.9%	
③ STS法で陽性の場合、TP抗体検査を追加実施	15	4.6%	8	4.6%	
④ TP抗体検査で陽性の場合、STS法を追加実施	4	1.2%	3	1.7%	
⑤ TP抗体検査で陽性の場合、STS法・TP抗体検査を追加実施	13	4.0%	8	4.6%	
TP抗体検査のみ	19	5.8%	45	25.9%	
⑥ その他	5	1.5%	17	9.8%	
■結果返却のタイミング					
6日以内	11	3.4%	116	66.7%	
1週間後	189	58.2%	5	2.9%	
1週から2週まで	19	5.8%	5	2.9%	
2週間後	97	29.8%			

検査方法について教えてください。

	通常検査 (325件)		即日検査 (174件)		複数回答
■ STS法	274		112		
→RPRカードテスト	230	83.9%	111	40.5%	
→自動化法	40	14.6%	0	0.0%	
→その他	0	0.0%	0	0.0%	
→不明	6	2.2%	0	0.0%	
■ TP抗体検査	303		161		
→TPHA法	161	53.1%	38	12.5%	
→TPPA法	14	4.6%	1	0.3%	
→TPLA法	57	18.8%	5	1.7%	
→TPIC法	56	18.5%	101	33.3%	
→FTA-ABS法	16	5.3%	2	0.7%	
→その他	9	3.0%	1	0.3%	
→不明	2	0.7%	8	2.6%	

保健所における 梅毒検査体制に関する調査(R1年)

(2)検査実績に関するご質問

① 1年間(2019年1-12月)の梅毒検査数・陽性数を教えて下さい。 (n=455)

検査数		陽性数		陽性率
梅毒検査数	79,147	梅毒陽性数	1,637	2.1%
うちSTS法検査数	60,890	うち STS法陽性数	876	1.4%
TP抗体検査検査数	70,708	TP抗体検査陽性数	1,953	2.8%

② 梅毒検査が陽性だった場合の対応について、当てはまるもの全てに〇を付けてください。(複数回答可)

結果告知のみ	61	13.4%
受診勧奨	412	90.5%
パートナーの検査勧奨	280	61.5%
医療機関紹介	252	55.4%
紹介状を発行	306	67.3%
その他	20	4.4%

③ 梅毒検査陰性の証明書を発行していますか。 (n=455)

発行していない	328	72.1%	
発行している	121	26.6%	(n=328)
→料金は？			(n=121)
無料	52	(43.0%)	
有料	64	(52.9%)	
金額→ 500円未満	8	(6.6%)	
500～1,000円未満	25	(20.7%)	
1,000円～2,000円未満	23	(19.0%)	
2,000円以上	8	(6.6%)	
記名式ですか？			
→はい	80	66.1%	
→いいえ	31	25.6%	

④HIV検査の陽性者が医療機関を受診したかどうか分かる仕組みがありますか？(複数回答)

ない	302	66.4%	(n=455)
ある	145	31.9%	
医療機関からの報告	131	90.3%	(n=145)
→受診医療機関に確認	3	2.1%	
→同伴受診	1	0.7%	
→本人の連絡先を把握	2	1.4%	

自治体特設 HIV検査施設におけるHIV 検査体制に関する調査(R1年)

1. HIV検査実績について

2019年1～12月の実施状況をお教え下さい。　　(n=15)

① HIV検査件数

検査数	28,863
うち陽性数	123
陽性率	0.43%

アンケート送付数	18
回収数	15
回収率	83.3%

陽性経験数

陽性者があった施設	11件	73.3%
陽性者がなかった施設	4件	26.7%

年間検査件数別施設数

年間検査数	施設数		検査件数		陽性数	陽性率	陽性経験率	陽性経験数
全体	**15**		**28863**		**123**	**0.43%**	**73.3%**	**11**
50件未満	0		–	–	–	–	–	–
50-99件	1	6.7%	80	0.3%	0			0
100-199件	2	13.3%	247	0.9%	0			0
200-499件	1	6.7%	453	1.6%	0			0
500-999件	5	33.3%	3,531	12.2%	14	0.40%	100.0%	5
1000件以上	6	40.0%	24,552	85.1%	109	0.44%	100.0%	6

② HIV検査結果を聞きにこなかった受検者数と%

	陰性で聞きに来なかった人		陽性で聞きに来なかった		検査件数	陽性数	陰性数	聞きに来ない
全体	491	1.7%	9	7.3%	28,863	123	28,740	500
即日検査のみ	2	0.0%	2	10.5%	7,179	19	7,160	4
即日検査+通常検査	32	0.6%	3	9.7%	5,397	31	5,366	35
通常検査のみ	457	2.8%	4	5.5%	16,287	73	16,214	461

③ 発生届出を行った陽性者数　　**87人**　　**(70.7%)**

④ 陽性者のうち、医療機関への紹介状を発行した数　　**107人**　　**(87.0%)**

④ 医療機関を受診したことを把握できている陽性者数:　　**90人**　　**(78.9%)**

自治体特設 HIV検査施設におけるHIV 検査体制に関する調査(R1年)

2. HIV検査・相談事業について

① HIV検査の際にHIV以外の性感染症検査を一緒に行っていますか？ (n=15)

行っている	10件	66.7%
行っていない	5件	33.3%

「行っている」と答えた施設 → 実施している性感染症検査項目に○をしてください。

梅毒	10	100.0%	(n=10) 複数回答
クラミジア抗原または抗体	1	10.0%	
淋菌	1	10.0%	
B型肝炎	3	30.0%	
C型肝炎	0	0.0%	

② HIV検査結果の連絡・受け渡しについて

2019年1月以降HIV/性感染症検査に関して誤った結果を通知したことはありましたか？ (n=15)

なかった	15	100.0%
あった	0	0.0%
⇒HIVについてあった	−	−
⇒STIについてあった	−	−

③ HIV検査成績の証明書を発行していますか？ (n=15)

発行していない	14	93.3%	
発行している	1	6.7%	
→料金は？			
無料	1	100.0%	(n=1)
有料	0	0.0%	
記名式ですか？			
→はい	0	0.0%	
→いいえ	1	100.0%	

④ HIV検査の陽性者が医療機関を受診したかどうか分かる仕組みがありますか？(複数回答)

ない	2	13.3%	(n=15)
ある	13	86.7%	
→紹介状の返信、医療機関からの報告	11	84.6%	
→同伴受診	1	7.7%	

自治体特設 HIV検査施設におけるHIV 検査体制に関する調査(R1年)

3. 受検者に関する情報収集・対応状況等について

① 受検者について把握している内容に〇を付けて下さい 複数回答あり

			(n=15)
性別	14	93.3%	
年齢	11	73.3%	
年代	6	40.0%	
居住地域	11	73.3%	
受検動機	12	80.0%	
受検経験	13	86.7%	
感染リスク	13	86.7%	
性的指向	13	86.7%	
感染機会の時期	14	93.3%	
今回の検査の情報源	11	73.3%	
その他	4	26.7%	

② 受検者の情報を把握するための質問票などを用いていますか？ (n=15)

用いていない	0	0.0%
用いている	15	100.0%

③ 職務中の血液暴露事故が受検動機の受検者はいましたか？ (n=15)

わからない、把握していない	6	40.0%
いない	4	26.7%
いる	5	33.3%
→職種	人数	
医療職	41人	100%

④ 中学生・高校生の検査希望者への対応はどのようにしていますか (n=15)

通常通り行う	12	80.0%
受け付けない	1	6.7%
検査・告知とも保護者同伴で受付	1	6.7%
告知のみ保護者同伴で受付	0	−
保護者の同意を得られているか	0	−
保護者同伴	0	−
陽性時(緊急時)は保護者に説明	0	−
中学生は保護者同伴か受け付けない	1	6.7%
状況に応じて	3	20.0%

自治体特設 HIV検査施設におけるHIV 検査体制に関する調査(R1年)

⑤ 日本語のわからない外国籍の人が受検できる仕組みがありますか？

ない	9	60.0%	(n=15)
ある	6	40.0%	
◆言語			
→英語	5	83.3%	(n=6)
→中国語	1	16.7%	
→韓国語、朝鮮語	0	0.0%	
→ポルトガル語	1	16.7%	
→スペイン語	1	16.7%	
→ベトナム語	1	16.7%	
→タイ語	1	16.7%	
→タガログ語、フィリピン語	1	16.7%	
→ロシア語	0	0.0%	
◆方法			
問診票、説明書	3	50.0%	
通訳依頼	1	16.7%	
通訳システム、アプリ	1	16.7%	
外国語対応できる人	3	50.0%	
英語、日本語と不可なら受検不可	1	16.7%	
日本語不可なら受検不可	1	16.7%	

4. HIV検査の実施状況について教えて下さい(通常・即日共に実施している場合は両方の質問にご回答ください)。

② 定期的に行っているHIV検査の実施曜日と実施時間をご記入下さい **(n=15)**

1	通常検査のみ	4	26.7%
2	即日検査のみ	10	66.7%
3	通常+即日	1	6.7%

A	平日昼のみ検査	0	0.0%
B	平日夜間検査	3	20.0%
C	土日検査(祝日含む)	12	80.0%

1A	通常のみ＋平日昼のみ	0	−
1B	通常のみ＋夜間も行っている	1	6.7%
1C	通常＋土日検査も	3	20.0%
2A	即日のみ＋平日昼のみ	0	−
2B	即日のみ＋夜間も行っている	2	13.3%
2C	即日＋土日検査も	8	53.3%
3A	通常＋即日・平日昼のみ	0	−
3B	通常＋即日・夜間も行っている	0	−
3C	通常＋即日・土日検査も	1	6.7%

15

通常検査を行っている施設	5
即日検査を行っている施設	11

自治体特設 HIV検査施設におけるHIV 検査体制に関する調査(R1年)

A 通常検査の場合　　15施設

① 実施方法は？　　(n=6) 複数回答

定期	5	83.3%
イベント	0	0.0%

② 曜日と時間は？　　(n=6) 複数回答

曜日		
土、日、祝日	4	66.7%
平日	2	33.3%
時間帯		
午前	0	−
午後	4	66.7%
夜間	4	66.7%
月回数		
4	3	50.0%
8回以上	2	33.3%
年回数		
1〜2回	0	−
4回以上	0	−

③ 予約制ですか？　　(n=6) 複数回答

はい	3	50.0%
いいえ	3	50.0%

④ 結果返しは？　　(n=5)

6日以内	0	0.0%
1週間後	5	100.0%
1〜2週間	0	0.0%

⑤ スクリーニング検査　実施施設は？　　(n=5)

自施設	0	0.0%
他施設	5	100.0%

⑥ 確認検査の方法は？　　(n=5)

WB法のみ	0	0.0%
2次スクリーニング+WB法	1	20.0%
WB法+NAT法	2	40.0%
2次スクリーニング+WB法+NAT法	2	40.0%
その他	2	40.0% →

NAT法はWB法で(−)の時に実施
2次スクリーニング検査まで

⑦ 確認検査の実施施設は？　　(n=5)

自施設	1	20.0%
他施設	4	80.0%

自治体特設 HIV検査施設におけるHIV 検査体制に関する調査(R1年)

B 即日検査の場合　　355保健所

① 実施方法は？　　複数回答　(n=12)

定期	11	91.7%
イベント	1	8.3%

② 曜日と時間は？　　複数回答

曜日		
土、日、祝日	10	83.3%
平日	2	16.7%
時間帯		
午前	1	8.3%
午後	9	75.0%
夜間	3	25.0%
月回数		0.0%
1回	4	33.3%
2回	2	16.7%
3～4回	3	25.0%
8回以上	1	8.3%
年回数		0.0%
4回以上	2	16.7%

③ 予約制ですか？　　(n=12) 複数回答

はい	9	75.0%
いいえ	3	25.0%

④ 結果返しは？　　(n=11)

6日以内	0	0.0%
1週間後	6	54.5%
1～2週間	3	27.3%
2週間以降	0	0.0%

⑤ スクリーニング検査の方法は？　　(n=11) 複数回答

イムノクロマト法	2	18.2%
ダイナスクリーン	7	63.6%
エスプライン	1	9.1%
未記入	1	9.1%

自治体特設 HIV検査施設におけるHIV 検査体制に関する調査(R1年)

⑥ スクリーニング検査　実施施設は？　(n=11)

自施設	9	81.8%
他施設	2	18.2%

⑦ 確認検査の方法は？　(n=11)

WB法のみ	0	0.0%
2次スクリーニング+WB法	3	27.3%
WB法+NAT法	4	36.4%
2次スクリーニング+WB法+NAT法	3	27.3%
その他	2	18.2%

⑧ 確認検査の実施施設は？

自施設	2	16.7%
他施設	9	75.0%

⑨ 確認検査用　検体は？　(n=12) 複数回答

迅速検査残血液	4	33.3%
確認検査用再採血	5	41.7%
迅速検査用と同時	1	8.3%
結果通知後	4	33.3%

5. 結果説明・相談体制について

複数回答　(n=15)

	スクリーニング検査陰性時		スクリーニング検査陽性時		確認検査陰性時		確認検査陽性時	
職種　医師	14	93.3%	12	80.0%	12	80.0%	13	86.7%
保健師	4	26.7%	3	20.0%	2	13.3%	3	20.0%
看護師	3	20.0%	3	20.0%	2	13.3%	2	13.3%
検査技師	1	6.7%	1	6.7%	2	13.3%	1	6.7%
その他(カウンセラー等)	2	13.3%	3	20.0%	2	13.3%	2	13.3%
説明資料　あり	14	93.3%	11	73.3%	11	73.3%	11	73.3%
なし	1	6.7%	1	6.7%	1	6.7%	2	13.3%
配布資料　あり	15	100.0%	12	80.0%	11	73.3%	13	86.7%
なし	0	0.0%	0	0.0%	1	6.7%	0	0.0%

④ 検査結果の説明方法について　複数回答　(n=15)

	スクリーニング検査陰性時		スクリーニング検査陽性時		確認検査陰性時		確認検査陽性時	
口頭のみ	5	33.3%	3	20.0%	3	20.0%	3	20.0%
結果の書面を渡す	10	66.7%	9	60.0%	9	60.0%	10	66.7%
希望者には結果書を渡す						0.0%	0	0.0%
この状況での対応なし			2	13.3%				

自治体特設 HIV検査施設におけるHIV 検査体制に関する調査(R1年)

⑥ 確認検査陽性者への対応として専門のカウンセラーの派遣は可能ですか？ (n=15) 複数回答あり

	全体		陽性経験保健所(n=11)	
経験あり	6	40.0%	4	36.4%
実績はないが可能	3	20.0%	2	18.2%
できない	2	13.3%	2	18.2%
検討中		0.0%	0	0.0%
その他	2	13.3%	2	18.2%

⑦ 確認検査で陽性の場合、貴施設で発生届を提出していますか？ (n=15) 複数回答あり

	全体		陽性経験保健所(n=11)	
行う	6	40.0%	5	45.5%
行わない	1	6.7%	0	0.0%
医療機関に依頼する	6	40.0%	5	45.5%

6. 検査・実施体制と担当者の研修機会について

① 検査以外に感染予防等に関する相談を実施していますか？ (n=15)

していない	1	6.7%
している	14	93.3%

対象者は？ (n=14)

→全員に	13	92.9%
→陽性者のみ	0	0.0%
→陰性者のみ	1	7.1%

タイミングは？ 複数回答あり

検査前に	0	0.0%
結果説明後に	6	42.9%
両方に	8	57.1%

具体的手法は？ 複数回答あり

資料配布	7	50.0%
医師対応	11	78.6%
保健師対応	4	28.6%
カウンセラー対応	3	21.4%
NGOと連携	2	14.3%
随時電話相談	1	7.1%

③ 検査・相談に関わる担当者の研修や再教育の機会はありますか？ (n=15)

ある	11	73.3%
自施設内での研修	5	33.3%
自治体主催の研修	6	40.0%
国立保健医療科学院主催の研修	2	13.3%
エイズ予防財団主催の研修	7	46.7%
拠点病院、医師会主催の研修	3	20.0%
ない	3	20.0%

自治体特設 HIV検査施設におけるHIV 検査体制に関する調査(R1年)

7. 検査・相談の受け入れについて

やむを得ず検査・相談の受け入れを断ったことはありますか？ (n=15)

ある	10	66.7%
→定員数を超過した	6	60.0% (n=10)
→外国人対応が困難	2	20.0%
→受付時間に間に合わなかった	3	30.0%
→1週間後の結果が受け取れない	1	10.0%
→すでに他で陽性結果が出ていた	1	10.0%
ない	5	33.3%

8. その他

①ウェブサイト「HIV検査・相談マップ」をご覧になったことはありますか？

ある	15	100.0% (n=15)
ない	0	0.0%

②「HIV検査・相談マップ」は検査相談事業に役立っていると思いますか？

はい	15	100.0% (n=15)
いいえ	0	0.0%

自治体特設HIV検査施設における 梅毒検査体制に関する調査(令和元年)

1. 貴施設では梅毒検査を実施していますか？ (n=14)

アンケート送付数

実施している	9件	64.3%
実施していない	5件	35.7%

回収数 14
HIV検査実施 15
回収率 77.8%

「梅毒検査を行っている」と答えた保健所のみ (n=9)

送付数+送付していないが回収された保健所数 18

(1)検査体制に関するご質問

① 梅毒検査について、検査費用の自己負担はありますか。 (n=9)

ある (有料)	0	0.0%
ない(無料)	8	88.9%
未回答	1	11.1%

② 梅毒検査単独でも検査を受けることができますか。 (n=9)

梅毒検査単独でも受けられる	2	22.2%
HIV検査と一緒の場合のみ受けられる	7	77.8%

③ 梅毒検査に関する説明・相談に、何らかの資料を使用していますか。 (n=9)

使用していない	1	11.1%	
→必要ない	0	(0.0%)	(n=1)
→適当な資料がない	1	(100.0%)	
使用している	8	88.9%	
→自施設で作成した資料	4	(50.0%)	(n=8)
→HIV検査・相談マップ(もしかして梅毒!?)	2	(25.0%)	
→感染症学会資料(STOP梅毒)	0	(0.0%)	
→県・市作成資料	2	(25.0%)	
→市販パンフレット等	2	(25.0%)	

④ 梅毒検査の実施状況について、教えてください。
(通常・即日共に実施している場合は両方の質問にご回答ください)

(n=9)

通常検査のみで実施	3	33.3%
即日検査のみで実施	5	55.6%
両方実施	1	11.1%

通常検査を行っている 4
即日検査を行っている 6

■検査方法	通常検査 (4件)		即日検査 (6件)		複数回答
① STS法のみ	0	0.0%	0	0.0%	
② STS法とTP抗体検査を同時実施	2	50.0%	1	16.7%	
③ STS法で陽性の場合、TP抗体検査を追加実施	0	0.0%		0.0%	
④ TP抗体検査で陽性の場合、STS法を追加実施	1	25.0%		0.0%	
⑤ TP抗体検査で陽性の場合、STS法・TP抗体検査を追加実施	1	25.0%		0.0%	
TP抗体検査のみ		0.0%	3	50.0%	
未記入		0.0%	2	33.3%	
■結果返却のタイミング					
6日以内	0	0.0%		0.0%	
1週間後	3	75.0%		0.0%	
1週から2週まで	1	25.0%		0.0%	
2週間後		0.0%			

検査方法について教えてください。

	通常検査 (4件)		即日検査 (6件)		複数回答
■ STS法	4		2		
→RPRカードテスト	3	75.0%	2	50.0%	
→自動化法	1	25.0%			
→その他		0.0%			
→不明		0.0%			
■ TP抗体検査	4		6		
→TPHA法	1	25.0%	2	50.0%	
→TPPA法	1	25.0%			
→TPLA法	1	25.0%			
→TPIC法			3	75.0%	
→FTA-ABS法					

自治体特設HIV検査施設における 梅毒検査体制に関する調査(令和元年)

(2)検査実績に関するご質問

① 1年間(2019年1-12月)の梅毒検査数・陽性数を教えて下さい。 (n=9)

検査数		陽性数		陽性率
梅毒検査数	23,728	梅毒陽性数	732	3.1%
うちSTS法検査数	6,019	うち STS法陽性数	133	2.2%
TP抗体検査検査数	23,169	TP抗体検査陽性数	813	3.5%

② 梅毒検査が陽性だった場合の対応について、当てはまるもの全てに〇を付けてください。(複数回答可)

結果告知のみ	1	11.1%
受診勧奨	8	88.9%
パートナーの検査勧奨	6	66.7%
医療機関紹介	3	33.3%
紹介状を発行	6	66.7%

③梅毒検査陰性の証明書を発行していますか。 (n=9)

発行していない	7	77.8%	
発行している	2	22.2%	(n=7)
→料金は？			(n=2)
無料	2	(100.0%)	
有料	0	(0.0%)	
記名式ですか？			
→はい	0	0.0%	
→いいえ	1	50.0%	

④HIV検査の陽性者が医療機関を受診したかどうか分かる仕組みがありますか？(複数回答)

ない	6	66.7%	(n=9)
ある	3	33.3%	
紹介状の返信	2	66.7%	(n=3)
未記入	1	33.3%	

保健所における HIV 検査体制に関する調査(R2年)

1. 貴保健所ではHIV検査相談を行っていますか？ (n=313)

はい	311件	99.4%
相談のみ、未回答	2件	0.6%
いいえ	0件	0.0%

アンケート送付数 531
回収数 313
回収率 58.9%

2. HIV検査実績について

2020年1～12月の実施状況をお教え下さい。

(n=310)

相談のみ 1件
すべて未回答 1件
検査数未回答 1件

① HIV検査件数

・検査数

1～3月	13,972	42.5%
4～6月	4,423	13.5%
7～9月	7,023	21.4%
10～12月	7,442	22.6%
年間	32,860	100.0%

・確認検査実施数

1～3月	459	37.7%
4～6月	177	14.5%
7～9月	290	23.8%
10～12月	291	23.9%
年間	1,217	100.0%

・確認検査陽性数

1～3月	23件	25.8%
4～6月	20件	22.5%
7～9月	25件	28.1%
10～12月	21件	23.6%
年間	89件	100.0%

検査数

検査数	32,860
うち陽性数	89
陽性率	0.27%

陽性経験数

陽性者があった保健所	50件	16.1%	(n=310)
陽性者がなかった保健所	260件	83.6%	

年間検査件数別保健所数

年間検査数	保健所数		検査件数		陽性数	陽性率	陽性経験率	陽性経験数
全体	310		32,860		89	0.27%	16.1%	50
50件未満	171	55.2%	3,120	9.5%	5	0.16%	2.9%	5
50-99件	57	18.4%	4,195	12.8%	10	0.24%	15.8%	9
100-199件	41	13.2%	5,951	18.1%	19	0.32%	31.7%	13
200-499件	32	10.3%	9,769	29.7%	29	0.30%	50.0%	16
500-999件	6	1.9%	4,393	13.4%	12	0.27%	66.7%	4
1000件以上	3	1.0%	5,432	16.5%	14	0.26%	100.0%	3

② HIV検査結果を聞きにこなかった受検者数と%

	陰性で聞きに来なかった人		陽性で聞きに来なかった		検査件数	陽性数	陰性数	聞きに来ない
全体	1,164	3.6%	1	1.1%	32,860	89	32,771	1,165
即日検査のみ	515	4.5%	1	2.9%	11,538	35	11,503	516
即日検査+通常検査	350	3.0%	0	0.0%	11,775	26	11,749	350
通常検査のみ	299	3.1%	0	0.0%	9,547	28	9,519	299

③ 発生届出を行った陽性者数 **48人** **(53.9%)**

④ 陽性者のうち、医療機関への紹介状を発行した数 **84人** **(94.4%)**

⑤ 医療機関を受診したことを把握できている陽性者数 **76人** **(86.4%)**

保健所における HIV 検査体制に関する調査(R2年)

3. COVID-19がHIV検査・相談体制に与えた影響について

① 貴保健所では、COVID-19流行により検査・相談の実施体制は変化しましたか？

変化なし	93件	29.9%	(n=311)
変化あり	217件	69.8%	
未回答	1件	0.3%	

「変化あり」と答えた保健所 → どのように変化しましたか？(複数回答)

回数を減らして実施	76件	35.0%	(n=217)
受入れ人数を減らして実施	55件	25.3%	
休止中	62件	28.6%	
一時休止したが再開した	76件	35.0%	
一部のみ休止	3件	1.4%	

「変化あり」と答えた保健所→理由を教えてください。(複数回答)

人員の不足	154件	71.0%
会場が使用不可	15件	6.9%
密を避けることが難しい	60件	27.6%
その他		
コロナ対応による業務増大のため	13件	6.0%
検査体制の調整(見直し)のため	5件	2.3%
感染拡大防止のため	8件	3.7%
緊急事態宣言が発令されたため	3件	1.4%
会場の使用制限のため	2件	0.9%
従事者の感染不安のため	3件	1.4%
匿名検査のため	2件	0.9%

「変化あり」と答えた保健所→その判断はどこでされたものですか？

保健所等の判断	185件	85.3%	(複数回答)
本庁の判断	34件	15.7%	
コミュニティセンターと相談	1件	0.5%	
健診を行う他課と検討する	1件	0.5%	

② 2020年1～12月において、HIV検査受検者の属性(セクシュアリティ、年齢、リピーターなど)は変化したと感じますか？

変わらない	278件	89.4%	(n=311)
変わった	13件	4.2%	
→具体的に			
昨年と比較し若年層が増加	2件		(n=13) 複数回答
若年層の初受検者減少	1件		
中高年の増加	2件		
中高年の減少	1件		
毎年来所の受検者が来なかった	1件		
リピーター、MSM 同等または増加	3件		
不明	4件	1.3%	
未回答	16件	5.1%	

③ 来年のHIV検査・相談の実施予定について教えてください。(複数回答)

従来通りに実施	146件	46.9%
回数を減らす	17件	5.5%
受入れ人数を減らす	38件	12.2%
その他		
流行の状況により検討	55件	17.7%
会場の状況により再開予定	1件	0.3%
完全予約制で実施	3件	1.0%
現状維持	2件	0.6%
本庁、国の方針による	4件	1.3%
時間短縮	1件	0.3%
未定	45件	14.5%

保健所における HIV 検査体制に関する調査(R2年)

4. HIV検査・相談事業について　　(n=311)

① HIV検査の際にHIV以外の性感染症検査を一緒に行っていますか？

行っている	**297件**	**95.5%**	
毎回	276件	92.9%	**(n=297)**
毎回ではないが定期的	10件	3.4%	
一部は定期的	8件	2.7%	
希望者のみ	17件	5.7%	
行っていない	**14件**	**4.5%**	

「行っている」と答えた保健所　→　実施している性感染症検査項目に〇をしてください。　複数回答

梅毒	**283**	**95.3%**	**(n=297)**
クラミジア抗原または抗体	**152**	**51.2%**	
淋菌	**35**	**11.8%**	
B型肝炎	**204**	**68.7%**	
C型肝炎	**200**	**67.3%**	
HTLV-1	**13**	**4.4%**	

② HIV検査結果の連絡・受け渡しについて
2020年1月以降HIV/性感染症検査に関して誤った結果を通知したことはありましたか？

(n=311)

なかった	**306**	**98.4%**
あった	**0**	**0.0%**
未回答	**5**	**1.6%**

③HIV検査陰性の証明書を発行していますか？　(n=311)

発行していない	**191**	**61.4%**	
発行している	**117**	**37.6%**	
（うち希望者のみ発行）	16	13.7%	
（うち結果通知書発行）	7	6.0%	
料金は？			
無料	**38**	32.5%	(n=117)
有料	**63**	53.8%	
金額→　500円未満	10	16%	(n=63)
500～1,000円未満	18	29%	
1,000～2,000円未満	16	25%	
2,000円以上	17	27%	
記名式ですか？			
はい	**75**	**64.1%**	(n=117)
いいえ	**20**	**17.1%**	

④HIV検査の陽性者が医療機関を受診したかどうか分かる仕組みがありますか？

ない	**147**	**47.3%**	(n=311)
ある	**159**	**51.1%**	
紹介状の返信、医療機関からの報告	147	92.5%	(n=159)
受診医療機関に確認	5	3.1%	(複数回答)
同伴受診	11	6.9%	
本人の連絡先を把握	7	4.4%	
医療機関と受診調整を行う	4	2.5%	
病院と連携、情報共有	5	3.1%	

保健所における HIV 検査体制に関する調査(R2年)

5. 受検者に関する情報収集・対応状況等について

① 受検者について把握している内容に〇を付けて下さい　　複数回答あり

性別	309	99.4%	(n=311)
年齢	228	73.3%	
年代	149	47.9%	
居住地域	151	48.6%	
受検動機	275	88.4%	
受検経験	231	74.3%	
感染リスク	217	69.8%	
性的指向	132	42.4%	
感染機会の時期	246	79.1%	
今回の検査の情報源	200	64.3%	
その他	40	12.9%	

② 受検者の情報を把握するための質問票などを用いていますか？(複数回答あり)

用いていない	15	4.8%	(n=311)
検査前に用いている	276	88.7%	
検査後に用いている	24	7.7%	
未回答	3	1.1%	

③ 職務中の血液暴露事故が受検動機の受検者はいましたか？　(n=311)

わからない、把握していない	60	19.3%
いない	178	57.2%
いる	70	22.5%
未回答	3	1.0%

→職種	人数		複数回答あり
医療職	63人	73%	(n=70)
福祉職	4人	5%	
美容職	0人	0%	
清掃業	4人	5%	
警察官、自衛官	2人	2%	
職業不明	13人	15%	

④ 中学生・高校生の検査希望者への対応はどのようにしていますか？

通常通り行う	197	63.3%	(n=311)
受け付けない	1	0.3%	
検査・告知とも保護者同伴で受付	34	10.9%	
告知のみ保護者同伴で受付	23	7.4%	
保護者の同意を得られているか	11	3.5%	
保護者同伴	1	0.3%	
陽性時(緊急時)は保護者に説明	13	4.2%	
中学生は保護者同伴か受け付けない	1	0.3%	
状況に応じて	12	3.9%	
事例なし	6	1.9%	
説明を十分に行う	4	1.3%	
年齢を把握していない	2	0.6%	
未定	3	1.0%	

⑤ 日本語のわからない外国籍の人が受検できる仕組みがありますか？

ない	174	55.9%	(n=311)
ある	125	40.2%	
未回答	12	3.9%	
◆言語			複数回答あり
英語	58	46.4%	(n=125)
中国語	14	11.2%	
韓国語、朝鮮語	8	6.4%	
ポルトガル語	11	8.8%	
スペイン語	8	6.4%	
ベトナム語	1	0.8%	
タイ語	9	7.2%	
タガログ語、フィリピン語	8	6.4%	
ロシア語	0	0.0%	
◆方法			
問診票、説明書	34	27.2%	
パンフレット	32	25.6%	
通訳依頼	8	6.4%	
通訳システム、アプリ	47	37.6%	
外国語対応できる人	3	2.4%	
意思疎通をはかり何とか対応	3	2.4%	
日本語のわかる人同席	4	3.2%	
状況に応じて	1	0.8%	

保健所における HIV 検査体制に関する調査(R2年)

⑥ 他所でのスクリーニング検査結果、郵送検査の結果を持参した受検者はいましたか？

いなかった	**299**	**96.1%**	(n=311)
いた	**2**	**0.6%**	
未回答	**10**	**3.2%**	

6. HIV検査の実施状況について教えて下さい(通常・即日共に実施している場合は両方の質問にご回答ください)。

② 定期的に行っているHIV検査の実施曜日と実施時間をご記入下さい。

(n=311)

1	通常検査のみ	**84**	**27.0%**
2	即日検査のみ	**163**	**52.4%**
3	通常+即日	**64**	**20.6%**

通常検査を行っている保健所 148
即日検査を行っている保健所 227

A	平日昼のみ検査	**220**	**70.7%**
B	平日夜間検査	**79**	**25.4%**
C	土日検査(祝日含む)	**12**	**3.9%**

A 通常検査の場合 148保健所

① 実施方法は？ **(n=148)** 複数回答

定期	**162**	**109.5%**
イベント	**4**	**2.7%**

② 曜日と時間は？ **(n=148)** 複数回答

曜日		
月	**30**	**20.3%**
火	**50**	**33.8%**
水	**27**	**18.2%**
木	**28**	**18.9%**
金	**4**	**2.7%**
土、日、祝日	**2**	**1.4%**
平日	**6**	**4.1%**
随時	**9**	**6.1%**
時間帯		
午前	**79**	**53.4%**
午後	**53**	**35.8%**
夜間	**33**	**22.3%**
月回数		
1回	**38**	**25.7%**
2回	**50**	**33.8%**
3～4回	**36**	**24.3%**
5回以上	**6**	**4.1%**
年回数		
1～5回	**2**	**1.4%**
6回以上	**8**	**5.4%**
③ 予約制ですか？		
はい	**115**	**77.7%**
いいえ	**45**	**30.4%**

保健所における HIV 検査体制に関する調査(R2年)

④ 結果返却のタイミングは? (n=148)

6日以内	4	2.7%
1週間後	93	62.8%
1～2週間	7	4.7%
2週間以降	42	28.4%

⑤ スクリーニング検査 実施施設は？ (n=148)

自施設	41	27.7%
他施設	105	70.9%
→衛生研究所	23	21.9%
→民間検査機関	33	31.4%
→他保健所	18	17.1%
→その他	30	28.6%

⑥ 確認検査の方法は？ (n=148)

WB法のみ	34	23.0%
2次スクリーニング+WB法	23	15.5%
WB法+NAT法	58	39.2%
2次スクリーニング+WB法+NAT法	16	10.8%
その他	7	4.7%

⑦ 確認検査の実施施設は？ (n=148)

自施設	22	14.9%
他施設	111	75.0%
→衛生研究所	42	37.8%
→民間検査機関	32	28.8%
→他保健所	9	8.1%
→医療機関	3	2.7%
→未回答	27	24.3%

B 即日検査の場合 227保健所

① 実施方法は？ (n=227) 複数回答

定期	232	102.2%
イベント	28	12.3%

② 曜日と時間は？ (n=227) 複数回答

曜日		
月	31	13.7%
火	71	31.3%
水	47	20.7%
木	43	18.9%
金	6	2.6%
土、日、祝日	13	5.7%
平日	13	5.7%
随時	9	4.0%
不定	1	0.4%
時間帯		0.0%
午前	133	58.6%
午後	115	50.7%
夜間	58	25.6%
月回数		0.0%
1回	65	28.6%
2回	81	35.7%
3～4回	42	18.5%
5回以上	5	2.2%
年回数		0.0%
1～5回	30	13.2%
6回以上	10	4.4%
③ 予約制ですか？		
はい	215	94.7%
いいえ	31	13.7%

④ 確認検査の結果返却のタイミングは？ (n=227)

6日以内	31	1.2%
1週間後	79	65.7%
1～2週間	10	8.0%
2週間以降	94	25.1%

保健所における HIV 検査体制に関する調査(R2年)

⑤ スクリーニング検査の方法は？ (n=227)

イムノクロマト法	37	16.3%
ダイナスクリーン	132	58.1%
エスプライン	51	22.5%
不明	3	1.3%

⑥ スクリーニング検査の実施施設は？ (n=227)

自施設	184	81.1%
他施設	42	18.5%

⑦ 確認検査の方法は？ (n=227)

WB法のみ	50	22.0%
2次スクリーニング+WB法	49	21.6%
WB法+NAT法	75	33.0%
2次スクリーニング+WB法+NAT法	33	14.5%
その他	12	5.3%

⑧ 確認検査の実施施設は？ (n=227)

自施設	23	10.1%
他施設	190	83.7%
→衛生研究所	78	70.3%
→民間検査機関	50	45.0%
→医療機関	2	1.8%
→医師会検査センター	4	3.6%
→他保健所	2	1.8%
→その他(記載なし)	55	49.5%

⑨ 確認検査用 検体は？ (n=227) 複数回答

迅速検査残血液	113	49.8%
確認検査用再採血	120	52.9%
迅速検査用と同時	45	19.8%
結果通知後	74	32.6%

7. 結果説明・相談体制について

(1)スクリーニング検査陰性者への対応 (n=311) 複数回答

	スクリーニング検査陰性時	
◆職種 医師	123	39.5%
保健師	204	65.6%
看護師	25	8.0%
検査技師	13	4.2%
その他(カウンセラー等)	24	7.7%
◆説明資料 あり	259	83.3%
なし	47	15.1%
◆配布資料 あり	257	82.6%
なし	48	15.4%
◆説明方法		
口頭のみ	175	56.3%
結果の書面を渡す	134	43.1%
希望者のみ結果書を渡す	7	
基本は口頭、希望者には書面を渡す	17	5.5%
紹介状を渡す	0	0.0%
証明書を発行	3	1.0%
この時点での対応はない	1	0.3%

(2)陽性者への対応 (n=311) 複数回答

	スクリーニング検査陽性時		確認検査で陰性(偽陽性)		確認検査で陽性(真の陽性)	
◆職種 医師	234	75.2%	192	61.7%	397	127.7%
保健師	117	37.6%	152	48.9%	102	32.8%
看護師	7	2.3%	7	2.3%	3	1.0%
検査技師	6	1.9%	8	2.6%	4	1.3%
その他(カウンセラー等)	14	4.5%	18	5.8%	18	5.8%
◆説明資料 あり	244	78.5%	231	74.3%	262	84.2%
なし	32	10.3%	48	15.4%	33	10.6%
◆配布資料 あり	246	79.1%	225	72.3%	264	84.9%
なし	30	9.6%	53	17.0%	32	10.3%
◆説明方法						
口頭のみ	145	46.6%	144	46.3%	110	35.4%
結果の書面を渡す	113	36.3%	112	36.0%	148	47.6%
希望者のみ結果書を渡す	2	0.6%	1	0.3%	3	1.0%
基本は口頭、希望者には書面を渡す	8	2.6%	4	1.3%	9	2.9%
紹介状を渡す	2	0.6%	1	0.3%	30	9.6%
証明書を発行	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
この時点での対応はない	13	4.2%	5	1.6%	2	0.6%

保健所における HIV 検査体制に関する調査(R2年)

⑤ 確認検査陽性者への対応として専門のカウンセラーの派遣は可能ですか？ (n=311) 複数回答

	全体		陽性経験保健所(n=50)	
経験あり	39	12.5%	16	32.0%
実績はないが可能	88	28.3%	8	16.0%
できない	134	43.1%	19	38.0%
検討中	9	2.9%	1	2.0%
その他	26	8.4%	3	6.0%
未回答	17	5.5%	3	6.0%

⑥ 確認検査で陽性の場合、貴保健所で発生届を提出していますか？ (n=311) 複数回答

	全体		陽性経験保健所(n=50)	
行う	90	28.9%	25	50.0%
行わない	38	12.2%	9	18.0%
必要に応じて	22	7.1%	1	2.0%
医療機関に依頼する	151	48.6%	17	34.0%
未回答	16	5.1%	0	0.0%

→「行う」としている場合、CD4値は記入していますか？ (n=90) 複数回答あり

	全体		陽性経験保健所(n=25)	
記入していない	56	62.2%	21	84.0%
後日判明後報告する	19	21.1%	1	4.0%
医療機関に問い合わせ記入	5	5.6%	0	0.0%
未回答	16	17.8%	3	12.0%

→「行わない」「必要に応じて」としている場合、その理由を記載ください。 (n=60)

AIDSの診断基準となる検査が保健所ではできないため	8	13.3%
医療機関で実施した検査をもとに医療機関で総合的に診療するため	26	43.3%
病院からの報告との重複を避けるため	2	3.3%
実績がないため不明	6	10.0%
その他	4	6.7%

8. 検査・相談の受け入れについて

やむを得ず検査・相談の受け入れを断ったことはありますか？ (n=311)

ある	175	56.3%
定員数を超過したため	102	58.3%
居住地が管外であるため	1	0.6%
繰り返し受検のため	3	1.7%
外国人対応が困難なため	3	1.7%
学生(小・中・高校生)のため	2	1.1%
COVID-19の影響のため	102	58.3%
日時の調整ができない	5	2.9%
乳幼児のため	1	0.6%
ウィンドウ期を過ぎていない	3	1.7%
採血できない	4	2.3%
発熱症状があったため	2	1.1%
証明を目的とした検査	1	0.6%
ない	136	43.7%

(n=175) 複数回答

9. その他

①ウェブサイト「HIV検査・相談マップ」をご覧になったことはありますか？

ある	271	87.1%	(n=311)
ない	35	11.3%	
未回答	5	1.6%	

②COVID-19によりHIV検査日程が変更・中止になった際に「HIV検査・相談マップ」に修正依頼を送りましたか？

はい	60	19.3%	(n=311)
いいえ	145	46.6%	
変更中止なし	98	31.5%	
未回答	8	2.6%	

③「HIV検査・相談マップ」は検査相談事業に役立っていると思いますか？

はい	203	65.3%	(n=311)
いいえ	3	1.0%	
不明	100	32.2%	
未回答	5	1.6%	

保健所における 梅毒検査体制に関する調査(R2年)

1. 梅毒検査を実施していますか？ (n=312)

実施している	283件	90.7%
実施していない	27件	8.7%
相談のみ、未回答	2件	0.6%

アンケート送付数	531
回収数	312
回収率	58.8%

「梅毒検査を行っている」と答えた保健所のみ (n=283)

(1)検査体制に関するご質問

① 梅毒検査について、検査費用の自己負担はありますか？ (n=283)

ある(有料)	30	10.6%	
金額→500円以下	5	16.7%	(n=30)
500～1,000円未満	19	63.3%	
1,000～2,000円未満	5	16.7%	
ない(無料)	250	88.3%	

② 梅毒検査単独でも検査を受けることができますか？ (n=283)

梅毒検査単独でも受けられる	181	64.0%
HIV検査と一緒の場合のみ受けられる	98	34.6%
未回答	4	1.4%

④ 梅毒検査の実施状況について、教えてください。
(通常・即日共に実施している場合は両方の質問にご回答ください)

(n=283)

通常検査のみで実施	190	67.1%
即日検査のみで実施	77	27.2%
両方実施	16	5.7%

通常検査を行っている	206
即日検査を行っている	93

■検査方法	通常検査	(206件)	即日検査	(93件)
① STS法のみ	2	1.0%	5	5.4%
②TP抗体検査のみ	17	8.3%	23	24.7%
③STS法とTP抗体検査を同時実施	167	81.1%	46	49.5%
④ STS法で陽性の場合、TP抗体検査を追加実施	6	2.9%	4	4.3%
⑤ TP抗体検査で陽性の場合、STS法を追加実施	4	1.9%	2	2.2%
⑥TP抗体検査で陽性の場合、STS法・TP抗体検査を追加実施	6	2.9%	6	6.5%
⑦ その他	3	1.5%	9	9.7%
■結果返却のタイミング				
6日以内	10	4.9%	7	7.5%
1週間後	110	53.4%	8	8.6%
1～2週間	7	3.4%	3	3.2%
2週間後	69	33.5%	17	18.3%
■検査実施施設(職員)				
自施設(職員)	62	30.1%	56	60.2%
他施設(職員)	118	57.3%	15	16.1%

複数回答

保健所における 梅毒検査体制に関する調査(R2年)

(2)検査実績に関するご質問

① 1年間(2020年1-12月)の梅毒検査数・陽性数を教えて下さい。 (n=273) 検査数記入なし 10

検査数		陽性数		陽性率
梅毒検査数	27,462	梅毒陽性数	772	2.8%
うちSTS法検査数	19,925	うち STS法陽性数	316	1.6%
うちTP抗体検査検査数	24,498	うちTP抗体検査陽性数	785	3.2%

② 梅毒検査が陽性だった場合の対応について、当てはまるもの全てに○を付けてください。(複数回答可)

結果告知のみ	35	12.4%	(n=283)
受診勧奨	255	90.1%	
医療機関紹介	163	57.6%	
紹介状を発行	149	52.7%	
パートナーの検査勧奨	179	63.3%	
その他	6	2.1%	

③ 梅毒検査陰性の証明書を発行していますか? (n=283)

発行していない	201	71.0%	
未回答	2	0.7%	
発行している	80	28.3%	
→料金は?			
無料	30	(37.5%)	(n=80)
有料	43	(53.8%)	
金額→ 500円未満	7	(8.8%)	
500～1,000円未満	13	(16.3%)	
1,000～2,000円未満	15	(18.8%)	
2,000円以上	6	(7.5%)	
記名式ですか?			
→はい	49	61.3%	
→いいえ	11	13.8%	

④ 梅毒検査の陽性者が医療機関を受診したかどうか分かる仕組みがありますか?(複数回答)

ない	180	63.6%	(n=283)
ある	91	32.2%	
→紹介状の返信	85	93.4%	(n=91)
→受診医療機関に確認	0	0.0%	
→同伴受診	1	1.1%	
→本人の連絡先を把握	5	5.5%	
→医療機関と受診調整を行う	0	0.0%	
→発生届の受理	2	2.2%	

自治体特設HIV検査施設における HIV 検査体制に関する調査(R2年)

1. HIV検査実績について

2020年1～12月の実施状況をお教え下さい。

	アンケート送付数	19
(n=15)	回収数	15
	回収率	78.9%

① HIV検査件数

・検査数

1～3月	6,219	30.0%
4～6月	3,389	16.3%
7～9月	5,434	26.2%
10～12月	5,710	27.5%
年間	20,752	100.0%

・確認検査実施数

1～3月	41件	30.4%
4～6月	23件	17.0%
7～9月	41件	30.4%
10～12月	30件	22.2%
年間	135件	100.0%

・確認検査陽性数

1～3月	37件	30.3%
4～6月	23件	18.9%
7～9月	38件	31.1%
10～12月	24件	19.7%
年間	122件	100.0%

検査数

検査数	20,752
うち陽性数	122
陽性率	0.59%

陽性経験数

陽性者があった施設	10件	66.7%
陽性者がなかった施設	5件	33.3%

年間検査件数別施設数

年間検査数	施設数		検査件数		陽性数	陽性率	陽性経験率	陽性経験数
全体	15		20,752		122	0.59%	66.7%	10
50件未満	1	6.7%	12	0.1%	0	0.00%	0.0%	0
50-99件	1	6.7%	84	0.4%	0	0.00%	0.0%	0
100-199件	1	6.7%	119	0.6%	3	2.52%	100.0%	1
200-499件	6	40.0%	2,010	9.7%	5	0.25%	66.7%	4
500-999件	3	20.0%	2,138	10.3%	4	0.19%	66.7%	2
1000件以上	3	20.0%	16,389	79.0%	110	0.67%	100.0%	3

② HIV検査結果を聞きにこなかった受検者数と%

	陰性で聞きに来なかった人		陽性で聞きに来なかった人		検査件数	陽性数	陰性数	聞きに来ない
全体	297	1.4%	6	4.9%	20,752	122	20,630	303
即日検査のみ	0	0.0%	2	10.0%	3,836	20	3,816	2
即日検査+通常検査	34	0.8%	0	0.0%	4,449	20	4,429	34
通常検査のみ	263	2.1%	4	4.9%	12,467	82	12,385	267

③ 発生届出を行った陽性者数 **91人** **(74.6%)**

④ 陽性者のうち、医療機関への紹介状を発行した数 **106人** **(86.9%)**

⑤ 医療機関を受診したことを把握できている陽性者数: **92人** **(79.3%)**

自治体特設HIV検査施設における HIV 検査体制に関する調査(R2年)

2. COVID-19がHIV検査・相談体制に与えた影響について

① 貴施設では、COVID-19流行により検査・相談の実施体制は変化しましたか？

変化なし	2件	13.3%	(n=15)
変化あり	13件	86.7%	

「変化あり」と答えた施設 → どのように変化しましたか？(複数回答)

回数を減らして実施	1件	7.7%
受入れ人数を減らして実施	8件	61.5%
休止中	1件	7.7%
一時休止したが再開した	9件	69.2%

「変化あり」と答えた施設→理由を教えてください。 (n=13)

人員の不足	0件	0.0%
会場が使用不可	3件	23.1%
密を避けることが難しい	7件	53.8%
感染拡大防止のため	1件	7.7%
緊急事態宣言発令のため	1件	7.7%

「変化あり」と答えた施設→その判断はどこでされたものですか？

施設等の判断	4件	30.8%	(n=13)
本庁(委託元)の判断	6件	46.2%	
双方の判断で	2件	15.4%	

② 2020年1～12月において、HIV検査受検者の属性(セクシュアリティ、年齢、リピーターなど)は変化したと感じますか？

変わらない	7件	46.7%	(n=15)
未回答	1件	6.7%	
変わった	7件	46.7%	
→具体的に			
リピーターが増加			
女性受検者が減少			
MSMの割合が増加			
異性愛男性の割合が減少、MSMの割合が増加			
ストレート男性が大幅減、全体的に初回受検者が減少傾向			
市内在住の受検者が増加			

③ 来年のHIV検査・相談の実施予定について教えてください。(複数回答)

従来通りに実施	7件	46.7%	(n=15)
回数を減らす	0件	0.0%	
受入れ人数を減らす	4件	26.7%	
流行の状況により検討	3件	20.0%	
完全予約制で実施	3件	20.0%	
今年度での中止を検討	1件	6.7%	
土曜日にも拡大して実施予定	1件	6.7%	

3. HIV検査・相談事業について (n=15)

① HIV検査の際にHIV以外の性感染症検査を一緒に行っていますか？

行っている	9件	60.0%	
→毎回	9件	100.0%	(n=9)
行っていない	6件	40.0%	

「行っている」と答えた施設 → 実施している性感染症検査項目に○をしてください。 複数回答

梅毒	9	100.0%	(n=9)
クラミジア抗原または抗体	2	22.2%	
淋菌	1	11.1%	
B型肝炎	3	33.3%	
C型肝炎	0	0.0%	

自治体特設HIV検査施設における HIV 検査体制に関する調査(R2年)

② HIV検査結果の連絡・受け渡しについて

2020年1月以降HIV/性感染症検査に関して誤った結果を通知したことはありましたか？

なかった	15	100.0%	(n=15)
あった	0	0.0%	

③HIV検査陰性の証明書を発行していますか？ (n=15)

発行していない	14	93.3%
発行している	1	6.7%
→料金無料	1	100.0%
→記名なし	1	100.0%

④HIV検査の陽性者が医療機関を受診したかどうか分かる仕組みがありますか？(複数回答)

ない	2	13.3%	(n=15)
ある	13	86.7%	
→紹介状の返信、医療機関からの報告	13	100.0%	(n=13)
→同伴受診	1	7.7%	

4. 受検者に関する情報収集・対応状況等について

① 受検者について把握している内容に〇を付けて下さい 複数回答あり

性別	15	100.0%	(n=15)
年齢	11	73.3%	
年代	5	33.3%	
居住地域	9	60.0%	
受検動機	11	73.3%	
受検経験	14	93.3%	
感染リスク	14	93.3%	
性的指向	11	73.3%	
感染機会の時期	13	86.7%	
今回の検査の情報源	12	80.0%	
妊娠の有無	2	13.3%	
性感染症既往	1	6.7%	
自覚症状	1	6.7%	

② 受検者の情報を把握するための質問票などを用いていますか？(複数回答)

用いていない	1	6.7%	(n=15)
検査前に用いている	12	80.0%	
検査後に用いている	8	53.3%	

③ 職務中の血液暴露事故が受検動機の受検者はいましたか？

わからない、把握していない	5	33.3%	(n=15)
いない	6	40.0%	
いる	3	20.0%	
→職種			
医療職	28人		
未回答	1	6.7%	

④ 中学生・高校生の検査希望者への対応はどのようにしていますか？

通常通り行う	11	73.3%	(n=15)
受け付けない	0	0.0%	
検査・告知とも保護者同伴で受付	0	0.0%	
告知のみ保護者同伴で受付	2	13.3%	
陽性時(緊急時)は保護者に説明	2	13.3%	
状況に応じて	1	6.7%	

自治体特設HIV検査施設における HIV 検査体制に関する調査(R2年)

⑤ 日本語のわからない外国籍の人が受検できる仕組みがありますか？

ない	8	53.3%	(n=15)
ある	6	40.0%	
未回答	1	6.7%	
◆言語			
→英語	3	50.0%	(n=6)
→中国語	2	33.3%	
→韓国語、朝鮮語	0	0.0%	
→ポルトガル語	1	16.7%	
→スペイン語	1	16.7%	
→ベトナム語	1	16.7%	
→タイ語	1	16.7%	
→タガログ語、フィリピン語	1	16.7%	
→ネパール語、ミャンマー語	1	16.7%	
◆方法			
医師による対応	2	33.3%	
通訳依頼(リモート含む)	2	33.3%	
通訳システム、アプリ	1	16.7%	

⑥ 他所でのスクリーニング検査結果、郵送検査の結果を持参した受検者はいましたか？

いなかった	13	86.7%	(n=15)
いた	1	6.7%	
未回答	1	6.7%	

5. HIV検査の実施状況について教えて下さい(通常・即日共に実施している場合は両方の質問にご回答ください)。

定期的に行っているHIV検査の実施曜日と実施時間をご記入下さい。 **(n=15)**

1	通常検査のみ	4	26.7%
2	即日検査のみ	10	66.7%
3	通常+即日	1	6.7%

通常検査を行っている施設 5
即日検査を行っている施設 11

A	平日昼のみ検査	0	0.0%
B	平日夜間検査	3	20.0%
C	土日検査(祝日含む)	12	80.0%

1A	通常のみ＋平日昼のみ	0	0.0%
1B	通常のみ＋夜間も行っている	1	6.7%
1C	通常＋土日検査も	3	20.0%
2A	即日のみ＋平日昼のみ	0	0.0%
2B	即日のみ＋夜間も行っている	2	13.3%
2C	即日＋土日検査も	8	53.3%
3A	通常＋即日・平日昼のみ	0	0.0%
3B	通常＋即日・夜間も行っている	0	0.0%
3C	通常＋即日・土日検査も	1	6.7%

15

自治体特設HIV検査施設における HIV 検査体制に関する調査(R2年)

A 通常検査の場合　　5保健所

① 実施方法は？　　(n=5) 複数回答

定期	6	120.0%
イベント	0	0.0%

② 曜日と時間は？　　(n=5) 複数回答

曜日		
土、日、祝日	3	60.0%
平日	3	60.0%
時間帯		
午前	1	20.0%
午後	4	80.0%
夜間	3	60.0%
月回数		
4回	1	20.0%
8回以上	3	60.0%
年回数		
8回以上	1	20.0%
③ 予約制ですか？		
はい	3	60.0%
いいえ	2	40.0%

④ 結果返却のタイミングは？　　(n=5)

6日以内	0	0.0%
1週間後	4	80.0%
1～2週間	1	20.0%
2週間以降	0	0.0%

⑤ スクリーニング検査の実施施設は？　　(n=5)

自施設	0	0.0%
他施設	5	100.0%

⑥ 確認検査の方法は？　　(n=5)

WB法のみ	1	20.0%
2次スクリーニング+WB法	0	0.0%
WB法+NAT法	1	20.0%
2次スクリーニング+WB法+NAT法	2	40.0%

⑦ 確認検査の実施施設は？

自施設	0	0.0%
他施設	5	100.0%
→衛生研究所	2	40.0%
→民間検査機関	1	20.0%
→医療機関	2	40.0%

自治体特設HIV検査施設における HIV 検査体制に関する調査(R2年)

B 即日検査の場合　　11保健所

① 実施方法は？　　(n=11) 複数回答

定期	12	109.1%
イベント	0	0.0%

② 曜日と時間は？　　(n=11) 複数回答

曜日		
土、日、祝日	9	81.8%
平日	2	18.2%
時間帯		0.0%
午前	2	18.2%
午後	8	72.7%
夜間	4	36.4%
月回数		0.0%
1回	4	36.4%
2回	2	18.2%
3～4回	3	27.3%
8回以上	1	9.1%
年回数		0.0%
1～7回	1	9.1%
8回以上	1	9.1%
③ 予約制ですか？		
はい	9	81.8%
いいえ	3	27.3%

④ 結果返却のタイミングは？　　(n=11)

1週間後	7	65.7%
1～2週間	3	8.0%
10日後以降	1	25.1%

⑤ スクリーニング検査の方法は？　　(n=11) 複数回答

ダイナスクリーン	10	90.9%
エスプライン	2	18.2%

⑥ スクリーニング検査の実施施設は？　　(n=11)

自施設	7	63.6%
他施設	3	27.3%
未回答	1	9.1%

⑦ 確認検査の方法は？

WB法のみ	0	0.0%
2次スクリーニング+WB法	2	18.2%
WB法+NAT法	3	27.3%
2次スクリーニング+WB法+NAT法	4	36.4%
その他		
2次スクリーニング+PCR法	1	9.1%
医療機関紹介	1	9.1%
NAT法はWB法(-)の場合のみ実施	1	9.1%

⑧ 確認検査の実施施設は？

自施設	2	18.2%
他施設	9	81.8%
→衛生研究所	3	33.3%
→民間検査機関	1	11.1%
→その他	5	55.6%

⑨ 確認検査用　検体は？　　(n=11) 複数回答

迅速検査残血液	5	45.5%
確認検査用再採血	5	45.5%
迅速検査用と同時	1	9.1%
結果通知後	4	36.4%

自治体特設HIV検査施設における HIV 検査体制に関する調査(R2年)

6. 結果説明・相談体制について

(1)スクリーニング検査陰性者への対応 (n=15) 複数回答

	スクリーニング検査陰性時	
◆職種　医師	14	93.3%
保健師	4	26.7%
看護師	2	13.3%
検査技師	0	0.0%
その他(カウンセラー等)	2	13.3%
◆説明資料　あり	14	93.3%
なし	1	6.7%
◆配布資料　あり	14	93.3%
なし	1	6.7%
◆説明方法		
口頭のみ	5	33.3%
結果の書面を渡す	10	66.7%

(2)陽性者への対応 (n=15)

	スクリーニング検査陽性時		確認検査で陰性(偽陽性)		確認検査で陽性(真の陽性)		複数回答
◆職種　医師	12	80.0%	10	66.7%	13	86.7%	
保健師	1	6.7%	1	6.7%	1	6.7%	
看護師	2	13.3%	3	20.0%	1	6.7%	
検査技師	0	0.0%	1	6.7%	0	0.0%	
その他(カウンセラー等)	2	13.3%	2	13.3%	2	13.3%	
◆説明資料　あり	12	80.0%	10	66.7%	12	80.0%	
なし	0	0.0%	1	6.7%	1	6.7%	
◆配布資料　あり	12	80.0%	10	66.7%	13	86.7%	
なし	0	0.0%	1	6.7%	0	0.0%	
◆説明方法							
口頭のみ	4	26.7%	2	13.3%	2	13.3%	
結果の書面を渡す	8	53.3%	9	60.0%	9	60.0%	
この時点での対応はない	3	20.0%	4	26.7%	4	26.7%	

⑤ 確認検査陽性者への対応として専門のカウンセラーの派遣は可能ですか？ (n=15)

	全体		陽性経験施設(n=10)	
経験あり	6	40.0%	6	60.0%
実績はないが可能	2	13.3%	1	10.0%
できない	3	20.0%	1	10.0%
カウンセラーが本人の了承を得て同席	1	6.7%	1	10.0%
派遣Coと同等の相談員が常駐	1	6.7%	1	10.0%
未回答	2	13.3%		

⑥ 確認検査で陽性の場合、貴施設で発生届を提出していますか？ (n=15) 複数回答あり

	全体		陽性経験施設(n=10)	
行う	6	40.0%	5	50.0%
行わない	1	6.7%	1	10.0%
必要に応じて	1	6.7%	1	10.0%
医療機関に依頼する	6	40.0%	4	40.0%
未回答	2	13.3%		

→「行う」としている場合、CD4値は記入していますか？ (n=6)

	全体		陽性経験施設(n=5)	
記入していない	5	83.3%	4	80.0%
後日判明後報告する	1	16.7%	1	20.0%
医療機関に問い合わせ記入	0	0.0%	0	0.0%
未回答	0	0.0%	0	0.0%

→「行わない」「必要に応じて」としている場合、その理由を記載ください。 (n=2)

すでに感染が分かっていて、他機関で届け出がされている場合は届けない	1	50.0%
医療機関で実施した検査をもとに医療機関で総合的に診療するため	1	50.0%

自治体特設HIV検査施設における HIV 検査体制に関する調査(R2年)

7. 検査・相談の受け入れについて

やむを得ず検査・相談の受け入れを断ったことはありますか？(複数回答)　(n=15)

ある	**11**	**73.3%**	
→定員数を超過したため	7	63.6%	(n=11)
→外国人対応が困難なため	2	18.2%	
→COVID-19の影響のため	3	27.3%	
→予約(受付)時間に大幅に遅れた	3	27.3%	
→発熱症状があったため	2	18.2%	
ない	**4**	**26.7%**	

8. その他

①ウェブサイト「HIV検査・相談マップ」をご覧になったことはありますか？

ある	**15**	**100.0%**	(n=15)
ない	**0**	**0.0%**	

②COVID-19によりHIV検査日程が変更・中止になった際に「HIV検査・相談マップ」に修正依頼を送りましたか？

はい	**11**	**73.3%**	(n=15)
いいえ	**2**	**13.3%**	
変更中止なし	**2**	**13.3%**	

③「HIV検査・相談マップ」は検査相談事業に役立っていると思いますか？

はい	**15**	**100.0%**	(n=15)
いいえ	**0**	**0.0%**	

自治体特設検査施設における梅毒 検査体制に関する調査(R2年)

1. 梅毒検査を実施していますか？ (n=15)

実施している	9件	60.0%
実施していない	6件	40.0%

アンケート送付数 19

回収数	15
HIV検査実施	15
回収率	78.9%

「梅毒検査を行っている」と答えた施設のみ (n=9)

(1)検査体制に関するご質問

① 梅毒検査について、検査費用の自己負担はありますか？ (n=9)

ある (有料)	0	0.0%
ない(無料)	9	100.0%

② 梅毒検査単独でも検査を受けることができますか？ (n=9)

梅毒検査単独でも受けられる	1	11.1%
HIV検査と一緒の場合のみ受けられる	8	88.9%

④ 梅毒検査の実施状況について、教えてください。
(通常・即日共に実施している場合は両方の質問にご回答ください)

(n=9)

通常検査のみで実施	4	44.4%
即日検査のみで実施	3	33.3%
両方実施	1	11.1%
未回答	1	11.1%

通常検査を行っている	5
即日検査を行っている	4

■検査方法	通常検査 (5件)		即日検査 (4件)	
① STS法のみ	0	0.0%	0	0.0%
② TP抗体検査のみ	0		3	75.0%
③ STS法とTP抗体検査を同時実施	3	60.0%	1	25.0%
④ STS法で陽性の場合、TP抗体検査を追加実施	0	0.0%	0	0.0%
⑤ TP抗体検査で陽性の場合、STS法を追加実施	1	20.0%	0	0.0%
⑥ TP抗体検査で陽性の場合、STS法・TP抗体検査を追加実施	1	20.0%	0	0.0%
⑦ その他	0	0.0%	0	0.0%
■結果返却のタイミング				
6日以内	0	0.0%		0.0%
1週間後	3	60.0%		0.0%
1～2週間	1	20.0%		0.0%
2週間後	1	20.0%		
■検査実施施設(職員)				
自施設(職員)	0	0.0%	4	100.0%
他施設(職員)	5	100.0%	0	0.0%

(2)検査実績に関するご質問

① 1年間(2020年1-12月)の梅毒検査数・陽性数を教えて下さい。 (n=9)

検査数		陽性数		陽性率
梅毒検査数	18,629	梅毒陽性数	1,176	6.3%
うちSTS法検査数	4,504	うち STS法陽性数	433	9.6%
うちTP抗体検査検査数	8,059	うちTP抗体検査陽性数	1,117	13.9%

自治体特設検査施設における梅毒 検査体制に関する調査(R2年)

② 梅毒検査が陽性だった場合の対応について、当てはまるもの全てに○を付けてください。(複数回答可)

結果告知のみ	2	22.2%
受診勧奨	8	88.9%
医療機関紹介	5	55.6%
紹介状を発行	4	44.4%
パートナーの検査勧奨	5	55.6%
その他	0	0.0%

③ 梅毒検査陰性の証明書を発行していますか？ (n=9)

発行していない	8	88.9%	
発行している	1	11.1%	(n=8)
→料金は？			(n=1)
無料	1	(100.0%)	
有料	0	(0.0%)	
記名式ですか？			
→はい	0	0.0%	
→いいえ	1	100.0%	

④梅毒検査の陽性者が医療機関を受診したかどうか分かる仕組みがありますか？(複数回答)

ない	3	33.3%	(n=9)
ある	5	55.6%	
→紹介状の返信、 医療機関からの報告	4	80.0%	(n=5)
→受診医療機関に確認		0.0%	
→同伴受診		0.0%	
→本人の連絡先を把握		0.0%	

保健所における HIV 検査体制に関する調査(R3年)

1. 貴保健所ではHIV検査相談を行っていますか？ (n=212)

はい	196件	92.5%
相談のみ、未回答	4件	1.9%
休止	12件	5.7%

アンケート送付数 523
回収数 212
回収率 40.5%

2. HIV検査実績について

2021年1～12月の実施状況をお教え下さい。

(n=196)

① HIV検査件数

・開催数

1～3月	1,017	23.9%
4～6月	1,026	24.1%
7～9月	1,009	23.7%
10～12月	1,199	28.2%
年間	4,251	100.0%

・検査数

1～3月	4,283	22.6%
4～6月	4,495	23.7%
7～9月	4,624	24.4%
10～12月	5,531	29.2%
年間	18,933	100.0%

・確認検査実施数

1～3月	105	22.5%
4～6月	103	22.1%
7～9月	143	30.6%
10～12月	116	24.8%
年間	467	100.0%

・確認検査陽性数

1～3月	11件	17.5%
4～6月	15件	23.8%
7～9月	22件	34.9%
10～12月	15件	23.8%
年間	63件	100.0%

検査数

検査数	18,933
うち陽性数	63
陽性率	0.33%

陽性経験数

陽性者があった保健所	36件	18.4%	(n=196)
陽性者がなかった保健所	160件	81.6%	

年間検査件数別保健所数 (n=196)

年間検査数	保健所数		検査件数		陽性数	陽性率	陽性経験率	陽性経験数
全体	196		18,933		63	0.33%	18.4%	36
50件未満	122	62.2%	1,977	10.4%	9	0.46%	7.4%	9
50-99件	29	14.8%	2,061	10.9%	9	0.44%	13.8%	4
100-199件	25	12.8%	3,488	18.4%	11	0.32%	40.0%	10
200-499件	13	6.6%	3,577	18.9%	9	0.25%	46.2%	6
500-999件	4	2.0%	2,668	14.1%	7	0.26%	100.0%	4
1000件以上	3	1.5%	5,162	27.3%	18	0.35%	100.0%	3

保健所における HIV 検査体制に関する調査(R3年)

② HIV検査結果を聞きにこなかった受検者数と% (n=205)

	陰性で聞きに来なかった人		陽性で聞きに来なかった		検査件数	陽性数	陰性数	聞きに来ない
全体	531	2.8%	3	4.8%	18,933	63	18,870	534
即日検査のみ	121	1.8%	1	3.8%	6,763	26	6,737	122
即日検査+通常検査	160	2.9%	2	11.8%	5,596	17	5,579	162
通常検査のみ	250	3.8%	0	0.0%	6,574	20	6,554	250

③ 発生届出を行った陽性者数 **30人** **(47.6%)**

④ 陽性者のうち、医療機関への紹介状を発行した数 **55人** **(87.3%)**

⑤ 医療機関を受診したことを把握できている陽性者数 **45人** **(75.0%)**

3. COVID-19がHIV検査・相談体制に与えた影響について

① 貴保健所では、COVID-19流行前と比べて検査・相談の実施体制は変化しましたか？

変化なし	73件	35.1%	(n=208)
変化あり	135件	64.9%	
未回答	0件	0.0%	

「変化あり」と答えた保健所 → どのように変化しましたか？(複数回答) (n=135)

休止中	27件	20.0%
一時休止したが再開した	62件	45.9%
回数を減らして実施(イベント中止)	45件	33.3%
受入れ人数を減らして実施	40件	29.6%
予約制に変更して実施	19件	14.1%
外部に委託して実施	1件	0.7%
非常勤職員を増員して実施	0件	0.0%

「変化あり」と答えた保健所→理由を教えてください。(複数回答)

人員の不足	88件	65.2%	(n=135)
会場確保困難	11件	8.1%	
密を避けることが難しい	26件	19.3%	
感染対策が難しい	17件	12.6%	
その他			
コロナ対応による業務増大のため	5件	3.7%	
緊急事態宣言の発令されたため	1件	0.7%	
同圏域の保健所が予約制にしたた	1件	0.7%	
その他	2件	1.5%	

② COVID-19流行前と比べて、HIV検査受検者の属性(セクシュアリティ、年齢、リピーターなど)は変化したと感じますか？

変わらない	183件	93.4%	(n=208)
変わった	11件	5.6%	
→具体的に			
他区、他都市の受検者が増加	3件	27.3%	(n=11) 複数回答
健康チェックのためという人が増えたように思う。	1件	9.1%	
オンライン申請を導入したことで、高齢の方が減少	1件	9.1%	
急に思いついてフラッと受ける人はいなくなった。結果を聞きに来ない人もいなくなった。	1件	9.1%	
受検者が増えた	1件	9.1%	
MSMの方が増えている。女性のセックスワーカーが減った。	1件	9.1%	
属性というよりも受検者そのものが激減した。	1件	9.1%	
リピーターの減少	2件	18.2%	
休止中のため不明	5件	45.5%	

保健所における HIV 検査体制に関する調査(R3年)

③ 来年のHIV検査・相談の実施予定について教えてください。(複数回答)

従来通りに実施	**121件**	**58.2%**	**(n=208)**
回数を減らす	**16件**	**7.7%**	
人数を減らす	**19件**	**9.1%**	
流行の状況により検討	**30件**	**14.4%**	
会場の状況により再開予定	**0件**	**0.0%**	
予約制で実施	**5件**	**2.4%**	
現状維持	**3件**	**1.4%**	
本庁、国の方針による	**0件**	**0.0%**	
時間短縮	**0件**	**0.0%**	
未定	**18件**	**8.7%**	

4. HIV検査・相談事業について **(n=208)**

① HIV検査の際にHIV以外の性感染症検査を一緒に行っていますか？

行っている	**201件**	**96.6%**	
毎回	177件	88.1%	**(n=201)**
毎回ではないが定期的	9件	4.5%	
希望者のみ	10件	5.0%	
検査を勧め同意が得られた場合	1件	0.5%	
行っていない	**6件**	**2.9%**	

「行っている」と答えた保健所 → 実施している性感染症検査項目に〇をしてください。 複数回答

梅毒	**189**	**94.0%**	**(n=201)**
クラミジア抗原または抗体	**107**	**53.2%**	
淋菌	**22**	**10.9%**	
B型肝炎	**140**	**69.7%**	
C型肝炎	**133**	**66.2%**	
HTLV-1	**9**	**4.5%**	

② HIV検査結果の連絡・受け渡しについて
2020年1月以降HIV/性感染症検査に関して誤った結果を通知したことはありましたか？ **(n=208)**

なかった	**206**	**99.0%**
あった	**0**	**0.0%**
未回答	**2**	**1.0%**

③HIV検査陰性の証明書を発行していますか？ **(n=208)**

発行していない	**133**	**63.9%**	
(うち 結果票は渡す)	4	3.0%	
発行している	**69**	**33.2%**	
(うち希望者のみ発行)	13	18.8%	
料金は？			
無料	**22**	31.9%	(n=69)
有料	**37**	53.6%	
金額→ 500円未満	4	11%	(n=37)
500～1,000円未満	9	24%	
1,000～2,000円未満	13	35%	
2,000円以上	7	19%	
記名式ですか？			
はい	**48**	**69.6%**	(n=69)
いいえ	**8**	**11.6%**	

④HIV検査の陽性者が医療機関を受診したかどうか分かる仕組みがありますか？

ない	**84**	**40.4%**	**(n=208)**
ある	**119**	**57.2%**	
→紹介状の返信、医療機関からの報告	94	79.0%	(n=119)(複数回答)
→受診医療機関に確認	4	3.4%	
→同伴受診	4	3.4%	
→本人に確認	6	5.0%	
→医療機関と受診調整を行う	2	1.7%	
→病院と連携、情報共有	3	2.5%	
→県カウンセラーを導入	1	0.8%	
→発生届を受理し確認	2		

保健所における HIV 検査体制に関する調査(R3年)

5. 受検者に関する情報収集・対応状況等について

① 受検者について把握している内容に〇を付けて下さい　　複数回答

性別	204	98.1%	(n=208)
年齢	149	71.6%	
年代	101	48.6%	
国籍	55	26.4%	
居住地域	94	45.2%	
受検動機	178	85.6%	
受検経験	139	66.8%	
感染リスク	135	64.9%	
性的指向	88	42.3%	
感染機会の時期	169	81.3%	
今回の検査の情報源	122	58.7%	
その他(STI既往歴、知識、言語など)	15	7.2%	

② 受検者の情報を把握するための質問票などを用いていますか、複数回答

用いていない	15	6.6%	(n=208)
検査前に用いている	183	81.0%	
検査後に用いている	18	8.0%	
未回答	10	4.4%	

③ 職務中の血液暴露事故が受検動機の受検者はいましたか？　(n=208)

わからない、把握していない	39	18.8%
いない	129	62.0%
いる	37	17.8%
未回答	3	1.4%

→職種	人数		複数回答あり
医療職	30人	61%	(n=37)
福祉職	3人	6%	
美容職	2人	4%	
清掃業	2人	4%	
警察官、医学生、患者	4人	8%	
職業不明	8人	16%	

④ 中学生・高校生の検査希望者への対応はどのようにしていますか？

通常通り行う	124	59.6%	(n=208)
受け付けない	1	0.5%	
検査・告知とも保護者同伴で受付	22	10.6%	
告知のみ保護者同伴で受付	17	8.2%	
14歳未満は保護者同伴、14歳以上は緊急時保護者へ連絡	2	1.0%	
15歳未満は保護者同意または同伴	3	1.4%	
16歳以上が対象	4	1.9%	
18歳以上が対象	1	0.5%	
必要に応じて保護者同伴を依頼	16	7.7%	
保護者の同意を得るよう促す	4	1.9%	
説明を十分に行う	1	0.5%	
1人で受検できることを条件とする	1	0.5%	
状況に応じて	6	2.9%	
事例なし	7	3.4%	
未定	1	0.5%	

保健所における HIV 検査体制に関する調査(R3年)

⑤ 日本語のわからない外国籍の人が受検できる仕組みがありますか？

ない	**118**	**56.7%**	**(n=208)**
ある	**85**	**40.9%**	
未回答	**5**	**2.4%**	
◆言語			複数回答あり
英語	**30**	**35.3%**	**(n=85)**
中国語	**9**	**10.6%**	
韓国語、朝鮮語	**0**	**0.0%**	
ポルトガル語	**7**	**8.2%**	
スペイン語	**4**	**4.7%**	
ベトナム語	**6**	**7.1%**	
タイ語	**2**	**2.4%**	
タガログ語、フィリピン語	**3**	**3.5%**	
ロシア語	**0**	**0.0%**	
◆方法			
問診票、説明書	**27**	**31.8%**	
パンフレット	**2**	**2.4%**	
通訳依頼	**10**	**11.8%**	
通訳システム、アプリ	**38**	**44.7%**	
外国語対応できる人	**6**	**7.1%**	
意思疎通をはかり何とか対応	**1**	**1.2%**	

⑥ 他所でのスクリーニング検査結果、郵送検査の結果を持参した受検者はいましたか？

いなかった	**201**	**96.6%**	**(n=208)**
いた	**2**	**1.0%**	
未回答	**5**	**2.4%**	

⑦ 受検者が採血に起因する体調不良等で医療機関受診が必要となった事例がありますか？

なかった	**205**	**98.6%**	**(n=208)**
あった	**3**	**1.4%**	
→痺れで力の入りにくさといった神経損傷が疑われる相談が入り、受診調整を行ったケースあり。			
→採血部位の痛みを訴え、地域の医療機関へ紹介。問題なしで診察終了。料金の支払いについて県、患者、医療機関で確認が必要となった。			

6. HIV検査の実施状況について教えて下さい(通常・即日共に実施している場合は両方の質問にご回答ください)。

② 定期的に行っているHIV検査の実施曜日と実施時間をご記入下さい。

(n=208)

1	通常検査のみ	**57**	**27.4%**	通常検査を行っている保健所	93
2	即日検査のみ	**115**	**55.3%**	即日検査を行っている保健所	151
3	通常+即日	**36**	**17.3%**		

A	平日昼のみ検査	**155**	**74.5%**
B	平日夜間検査	**48**	**23.1%**
C	土日検査(祝日含む)	**5**	**2.4%**

				検査数	陽性数
1A	通常のみ＋平日昼のみ	**48**	**23.1%**	3,561	14
1B	通常のみ＋夜間も行っている	**8**	**3.8%**	2,796	6
1C	通常＋土日検査も	**1**	**0.5%**	217	0
2A	即日のみ＋平日昼のみ	**88**	**42.3%**	4,549	16
2B	即日のみ＋夜間も行っている	**26**	**12.5%**	1,952	9
2C	即日＋土日検査も	**1**	**0.5%**	262	1
3A	通常＋即日・平日昼のみ	**19**	**9.1%**	2,466	4
3B	通常＋即日・夜間も行っている	**14**	**6.7%**	743	2
3C	通常＋即日・土日検査も	**3**	**1.4%**	2,387	11
		208		18,933	63

保健所における HIV 検査体制に関する調査(R3年)

A 通常検査の場合　　93保健所

① 実施方法は？　　複数回答　(n=93)

定期	98	105.4%
イベント	6	6.5%

② 曜日と時間は？　　複数回答　(n=93)

曜日		
月	17	18.3%
火	33	35.5%
水	18	19.4%
木	18	19.4%
金	4	4.3%
土、日、祝日	1	1.1%
平日	5	5.4%
随時	1	1.1%
時間帯		
午前	66	71.0%
午後	30	32.3%
夜間	17	18.3%
月回数		
1回	29	31.2%
2回	32	34.4%
3～4回	16	17.2%
5回以上	1	1.1%
年回数		
1～5回	3	3.2%
6回以上	5	5.4%
③ 予約制ですか？		
はい	76	76.0%
いいえ	24	24.0%

④ 結果返却のタイミングは?　　(n=93)

6日以内	2	2.2%
1週間後	59	63.4%
1～2週間	6	6.5%
2週間以降	27	29.0%

⑤ スクリーニング検査　実施施設は？　　(n=93)

自施設	27	29.0%
他施設	65	69.9%
→衛生研究所	11	16.9% (n=65)
→民間検査機関	27	41.5%
→他保健所	9	13.8%
→その他	18	27.7%

⑥ 確認検査の方法は？　　(n=93)

WB法のみ	22	23.7%
2次スクリーニング+WB法	16	17.2%
WB法+NAT法	31	33.3%
2次スクリーニング+WB法+NAT法	16	17.2%
その他	3	3.2%
不明	1	1.1%

⑦ 確認検査の実施施設は？　　(n=93)

自施設	14	15.1%
他施設	75	80.6%
→衛生研究所	28	37.3%
→民間検査機関	26	34.7%
→他保健所	5	6.7%
→医療機関	2	2.7%
→その他	14	18.7%

保健所における HIV 検査体制に関する調査(R3年)

B 即日検査の場合　　151保健所

① 実施方法は？　　複数回答　(n=151)

定期	149	98.7%
イベント	17	11.3%

② 曜日と時間は？　　複数回答　(n=151)

曜日		
月	22	14.6%
火	49	32.5%
水	32	21.2%
木	26	17.2%
金	4	2.6%
土、日、祝日	5	3.3%
平日	6	4.0%
随時	4	2.6%
不定	1	0.7%
時間帯		0.0%
午前	85	56.3%
午後	79	52.3%
夜間	34	22.5%
月回数		0.0%
1回	42	27.8%
2回	56	37.1%
3～4回	29	19.2%
5回以上	2	1.3%
年回数		0.0%
1～5回	12	7.9%
6回以上	6	4.0%
③ 予約制ですか？		
はい	145	91.2%
いいえ	14	8.8%

④ 確認検査の結果返却のタイミングは？　(n=151)

6日以内	19	12.6%
1週間後	59	39.1%
1～2週間	5	3.3%
2週間以降	60	39.7%

⑤ スクリーニング検査の方法は？　(n=151)

イムノクロマト法	28	18.5%
ダイナスクリーン	101	66.9%
エスプライン	13	8.6%
不明,未回答	9	6.0%

⑥ スクリーニング検査の実施職員は？　(n=151)

自施設職員	116	76.8%
他施設職員	28	18.5%

保健所における HIV 検査体制に関する調査(R3年)

⑦ 確認検査の方法は？ (n=151)

WB法のみ	26	17.2%
2次スクリーニング+WB法	32	21.2%
WB法+NAT法	47	31.1%
2次スクリーニング+WB法+NAT法	32	21.2%
その他	6	4.0%

⑧ 確認検査の実施施設は？ 複数回答 (n=151)

自施設	17	11.3%
他施設	123	81.5%
→衛生研究所	59	78.7%
→民間検査機関	28	37.3%
→医療機関	1	1.3%
→医師会検査センター	2	2.7%
→他保健所	2	2.7%
→その他(記載なし)	32	42.7%

⑨ 確認検査用 検体は？ (n=151) 複数回答

迅速検査残血液	71	47.0%
確認検査用再採血	82	54.3%
迅速検査用と同時	33	21.9%
結果通知後	46	30.5%

7. 結果説明・相談体制について

(1)スクリーニング検査陰性者への対応 (n=208) 複数回答

	スクリーニング検査陰性時	
◆職種 医師	80	38.5%
保健師	131	63.0%
看護師	18	8.7%
検査技師	5	2.4%
その他(カウンセラー等)	14	6.7%
◆説明資料 あり	157	75.5%
なし	42	20.2%
◆配布資料 あり	153	73.6%
なし	47	22.6%
◆説明方法		
口頭のみ	111	53.4%
結果の書面を渡す	87	41.8%
希望者のみ結果書を渡す	6	
基本は口頭、希望者には書面を渡す	3	1.4%
紹介状を渡す	0	0.0%
証明書を発行	3	1.4%
この時点での対応はない	0	0.0%

(2)陽性者への対応 (n=208)

	スクリーニング検査陽性時		確認検査で陰性(偽陽性)		確認検査で陽性(真の陽性)		複数回答
◆職種 医師	159	76.4%	127	61.1%	200	96.2%	
保健師	69	33.2%	99	47.6%	60	28.8%	
看護師	5	2.4%	6	2.9%	1	0.5%	
検査技師	2	1.0%	4	1.9%	2	1.0%	
その他(カウンセラー等)	6	2.9%	8	3.8%	6	2.9%	
◆説明資料 あり	152	73.1%	144	69.2%	162	77.9%	
なし	28	13.5%	43	20.7%	34	16.3%	
◆配布資料 あり	151	72.6%	134	64.4%	167	80.3%	
なし	29	13.9%	53	25.5%	29	13.9%	
◆説明方法							
口頭のみ	94	45.2%	93	44.7%	70	33.7%	
結果の書面を渡す	75	36.1%	77	37.0%	104	50.0%	
希望者のみ結果書を渡す	0	0.0%	1	0.5%	3	1.4%	
基本は口頭、希望者には書面を渡す	2	1.0%	2	1.0%	3	1.4%	
紹介状を渡す	2	1.0%	1	0.5%	19	9.1%	
証明書を発行	2	1.0%	1	0.5%	0	0.0%	
希望によりカウンセラー同席	1	0.5%	1	0.5%	1	0.5%	
この時点での対応はない	8	3.8%	0	0.0%	0	0.0%	

保健所における HIV 検査体制に関する調査(R3年)

⑤ 確認検査陽性者への対応として専門のカウンセラーの派遣は可能ですか？ **(n=208)** 複数回答

	全体		陽性経験保健所(n=36)	
経験あり	34	16.3%	14	38.9%
実績はないが可能	47	22.6%	4	11.1%
できない	87	41.8%	13	36.1%
検討中	12	5.8%	1	2.8%
その他	15	7.2%	3	8.3%
未回答	13	6.3%	1	2.8%

⑥ 確認検査で陽性の場合、貴保健所で発生届を提出していますか？ (n=208) 複数回答

	全体		陽性経験保健所(n=36)	
行う	62	29.8%	22	61.1%
行わない	33	15.9%	3	8.3%
必要に応じて	13	6.3%	3	8.3%
医療機関に依頼する	85	40.9%	8	22.2%
未回答	16	7.7%	0	0.0%

→「行う」としている場合、CD4値は記入していますか？ (n=62) 複数回答あり

	全体		陽性経験保健所(n=22)	
記入していない	36	58.1%	13	59.1%
後日判明後報告する	17	27.4%	7	31.8%
医療機関に問い合わせ記入	5	8.1%	0	0.0%
未回答	4	6.5%	2	9.1%

→「行わない」「必要に応じて」としている場合、その理由を記載ください。 (n=46)

有症状と思われる場合は、AIDS発症の有無について医療機関での精査が必要となるため、紹介先医療機関に発生届の提出を依頼している。	1
・症例に応じて、保健所または紹介先医療機関で提出	1
CD4の値は測定していないため	1
医療機関宛の紹介状を発行し、受診するよう勧めている。	1
届出事項に必要な検査や診察すべてに対応ができるわけではないから。	1
受診できる医療機関を提示し、受診を促しているが、患者の居住地が市外の場合もあるため。	1
感染症医療政策課が3か所の検査相談施設の事業取りまとめをしているため。	1

保健所における HIV 検査体制に関する調査(R3年)

8. 検査・相談の受け入れについて

やむを得ず検査・相談の受け入れを断ったことはありますか？ (n=208)

ある	**117**	**56.3%**
定員数を超過したため	73	62.4%
居住地が管外であるため	0	0.0%
繰り返し受検のため	3	2.6%
外国人対応が困難なため	0	0.0%
学生(小・中・高校生)のため	3	2.6%
COVID-19の影響のため	51	43.6%
日時の調整ができない	9	7.7%
遅刻したため	2	1.7%
ウィンドウ期を過ぎていない	2	1.7%
採血できない	1	0.9%
発熱症状があったため	1	0.9%
病状があり受診を勧めた	1	
証明を目的とした検査	1	0.9%
ない	**91**	**43.8%**

(n=117) 複数回答

9. その他

①ウェブサイト「HIV検査・相談マップ」をご覧になったことはありますか？

ある	**181**	**87.0%**	**(n=208)**
ない	**26**	**12.5%**	
未回答	**1**	**0.5%**	

②COVID-19によりHIV検査日程が変更・中止になった際に「HIV検査・相談マップ」に修正依頼を送りましたか？

はい	**41**	**19.7%**	(n=208)
いいえ	**87**	**41.8%**	
変更中止なし	**78**	**37.5%**	
未回答	**2**	**1.0%**	

③「HIV検査・相談マップ」は検査相談事業に役立っていると思いますか？

はい	**138**	**66.3%**	**(n=208)**
いいえ	**3**	**1.4%**	
不明	**64**	**30.8%**	
未回答	**3**	**1.4%**	

保健所における 梅毒検査体制に関する調査(R3年)

1. 梅毒検査を実施していますか？ (n=212)

実施している	189件	90.9%
実施していない	19件	9.1%
相談のみ、未回答	4件	

アンケート送付数	523
回収数	212
回収率	40.5%

「梅毒検査を行っている」と答えた保健所のみ (n=189)

(1)検査体制に関するご質問

① 梅毒検査について、検査費用の自己負担はありますか？ (n=189)

ある(有料)	22	11.6%	
金額→500円以下	4	18.2%	(n=22)
500～1,000円未満	16	72.7%	
1,000～2,000円未満	1	4.5%	
ない(無料)	165	87.3%	

② 梅毒検査単独でも検査を受けることができますか？ (n=189)

梅毒検査単独でも受けられる	117	61.9%
HIV検査と一緒の場合のみ受けられる	70	37.0%
未回答	1	0.5%

③ 梅毒検査の実施状況について、教えてください。
(通常・即日共に実施している場合は両方の質問にご回答ください)

(n=189)

通常検査のみで実施	121	64.0%
即日検査のみで実施	58	30.7%
両方実施	10	5.3%

通常検査を行っている	131
即日検査を行っている	68

■検査方法	通常検査	(131件)	即日検査	(68件)
① STS法のみ	2	1.5%	5	7.4%
②TP抗体検査のみ	15	11.5%	12	17.6%
③STS法とTP抗体検査を同時実施	97	74.0%	36	52.9%
④ STS法で陽性の場合、TP抗体検査を追加実施	6	4.6%	8	11.8%
⑤ TP抗体検査で陽性の場合、STS法を追加実施	1	0.8%	2	2.9%
⑥TP抗体検査で陽性の場合、STS法・TP抗体検査を追加実施	3	2.3%	2	2.9%
⑦ その他	4	3.1%	6	8.8%
■結果返却のタイミング				
6日以内	3	2.3%	7	10.3%
1週間後	78	59.5%	5	7.4%
1～2週間	5	3.8%	3	4.4%
2週間後	35	26.7%	7	10.3%
■検査実施施設(職員)				
自施設(職員)	35	26.7%	38	55.9%
他施設(職員)	84	64.1%	10	14.7%

複数回答

保健所における 梅毒検査体制に関する調査(R3年)

(2)検査実績に関するご質問

① 1年間(2020年1-12月)の梅毒検査数・陽性数を教えて下さい。 (n=182) 検査数記入なし 7件

検査数		陽性数		陽性率
梅毒検査数	15,902	梅毒陽性数	599	3.8%
うちSTS法検査数	13,174	うち STS法陽性数	264	2.0%
うちTP抗体検査検査数	13,901	うちTP抗体検査陽性数	645	4.6%

② 梅毒検査が陽性だった場合の対応について、当てはまるもの全てに○を付けてください。(複数回答可)

結果告知のみ	28	14.8%	(n=189)
受診勧奨	167	88.4%	
医療機関紹介	102	54.0%	
紹介状を発行	89	47.1%	
パートナーの検査勧奨	108	57.1%	
その他	3	1.6%	

③ 梅毒検査陰性の証明書を発行していますか? (n=189)

発行していない	139	73.5%	
未回答	3	1.6%	
発行している	47	24.9%	
→料金は?			
無料	15	(31.9%)	(n=47)
有料	29	(61.7%)	
金額→ 500円未満	4	(8.5%)	
500～1,000円未満	10	(21.3%)	
1,000～2,000円未満	10	(21.3%)	
2,000円以上	3	(6.4%)	
記名式ですか?			
→はい	28	59.6%	
→いいえ	9	19.1%	

④ 梅毒検査の陽性者が医療機関を受診したかどうか分かる仕組みがありますか?(複数回答)

ない	126	66.7%	(n=189)
ある	56	29.6%	
→紹介状の返信	53	94.6%	(n=56)
→受診医療機関に確認	2	3.6%	
→同伴受診	0	0.0%	
→本人の連絡先を把握	3	5.4%	
→医療機関と受診調整を行う	0	0.0%	
→発生届の受理	1	1.8%	

自治体特設検査施設における HIV 検査体制に関する調査(R3年)

1. HIV検査実績について(2021年1～12月の実施状況をお教え下さい。)

① HIV検査件数

・開催数 **(n=14)**

1～3月	157	23.8%
4～6月	173	26.2%
7～9月	156	23.6%
10～12月	175	26.5%
年間	661	100.0%

アンケート送付数 17
回収数 14
回収率 82.4%

・検査数

1～3月	3,672	22.2%
4～6月	4,216	25.5%
7～9月	4,081	24.7%
10～12月	4,568	27.6%
年間	16,537	100.0%

・確認検査実施数

1～3月	33	24.6%
4～6月	40	29.9%
7～9月	40	29.9%
10～12月	21	15.7%
年間	134	100.0%

・確認検査陽性数

1～3月	33件	26.4%
4～6月	39件	31.2%
7～9月	35件	28.0%
10～12月	18件	14.4%
年間	125件	100.0%

検査数

検査数	16,537
うち陽性数	125
陽性率	0.76%

陽性経験数

陽性者があった施設	12	85.7%	(n=14)
陽性者がなかった施設	2	14.3%	

年間検査件数別施設数 (n=14)

年間検査数	施設数		検査件数		陽性数	陽性率	陽性経験率
全体	14		16,537		125	0.76%	85.7%
50件未満	0	0.0%	0	0.0%	0		
50-99件	3	21.4%	252	1.5%	2	0.79%	66.7%
100-199件	1	7.1%	134	0.8%	2	1.49%	100.0%
200-499件	4	28.6%	1,442	8.7%	15	1.04%	100.0%
500-999件	3	21.4%	2,077	12.6%	5	0.24%	100.0%
1000件以上	3	21.4%	12,632	76.4%	101	0.80%	66.7%

② HIV検査結果を聞きにこなかった受検者数と%

	陰性で聞きに来なかった人		陽性で聞きに来なかった		検査件数	陽性数	陰性数
全体	560	3.4%	9	7.2%	16,537	125	16,412
即日検査のみ	-1	0.0%	1	3.7%	4,299	27	4,272
即日検査+通常検査							
通常検査のみ	561	4.6%	8	8.2%	12,238	98	12,140

③ 発生届出を行った陽性者数 **82人** **(65.6%)**

④ 陽性者のうち、医療機関への紹介状を発行した数 **96人** **(76.8%)**

⑤ 医療機関を受診したことを把握できている陽性者数 **83人** **(71.6%)**

自治体特設検査施設における HIV 検査体制に関する調査(R3年)

2. COVID-19がHIV検査・相談体制に与えた影響について

① 貴施設では、COVID-19流行前と比べて検査・相談の実施体制は変化しましたか？

変化なし	2	14.3%	(n=14)
変化あり	12	85.7%	

「変化あり」と答えた施設 → どのように変化しましたか？(複数回答) (n=12)

休止中	0	0.0%
一時休止したが再開した	7	58.3%
回数を減らして実施(イベント中止)	1	8.3%
受入れ人数を減らして実施	6	50.0%
予約制に変更して実施	2	16.7%
外部に委託して実施	1	8.3%
非常勤職員を増員して実施	0	0.0%

「変化あり」と答えた施設→理由を教えてください。(複数回答)

人員の不足	1	8.3%	(n=12)
会場確保困難	3	25.0%	
密を避けることが難しい	7	58.3%	
感染対策が難しい	1	8.3%	
その他			
委託元の判断で休止	2	16.7%	
緊急事態宣言の発令されたため	1	8.3%	
委託先業者の変更	1	8.3%	
予約をTELとし、諸注意を伝える	1	8.3%	

② COVID-19流行前と比べて、HIV検査受検者の属性(セクシュアリティ、年齢、リピーターなど)は変化したと感じますか？

変わらない	10	71.4%	(n=14)
変わった	4	28.6%	
→具体的に			
異性愛男性の割合が減少し、同性愛男性の割合が増加した	2	50.0%	(n=4)
受検者の層所の比率が変わった	1	25.0%	

③ 来年のHIV検査・相談の実施予定について教えてください。(複数回答)

従来通りに実施	10	50.0%	(n=14)
回数を減らす	0	0.0%	
人数を減らす	4	28.6%	
流行の状況により検討	1	7.1%	
会場の状況により再開予定	0	0.0%	
完全予約制で実施	5	35.7%	

3. HIV検査・相談事業について (n=14)

① HIV検査の際にHIV以外の性感染症検査を一緒に行っていますか？

行っている	**7**	**50.0%**	
毎回	5	71.4%	(n=7)
毎回ではないが定期的	1	14.3%	
行っていない	**7**	**50.0%**	

「行っている」と答えた施設 → 実施している性感染症検査項目に○をしてください。 複数回答

梅毒	7	100.0%	(n=7)
クラミジア抗原または抗体	2	28.6%	
淋菌	2	28.6%	
B型肝炎	2	28.6%	
C型肝炎	0	0.0%	

自治体特設検査施設における HIV 検査体制に関する調査(R3年)

② HIV検査結果の連絡・受け渡しについて
2021年1月以降HIV/性感染症検査に関して誤った結果を通知したことはありましたか？

(n=14)

なかった	13	92.9%
HIVの結果であった	1	7.1%

③HIV検査陰性の証明書を発行していますか？ (n=14)

発行していない	14	100.0%
発行している	0	0.0%

④HIV検査の陽性者が医療機関を受診したかどうか分かる仕組みがありますか？

ない	3	21.4%	(n=14)
ある	11	78.6%	
→紹介状の返信	6	54.5%	(n=11)
→医療機関からの報告	4	36.4%	
→同伴受診	1	9.1%	

4. 受検者に関する情報収集・対応状況等について

① 受検者について把握している内容に○を付けて下さい 複数回答

性別	14	100.0%	(n=14)
年齢	8	57.1%	
年代	7	50.0%	
居住地域	9	64.3%	
受検動機	11	78.6%	
受検経験	14	100.0%	
感染リスク	12	85.7%	
性的指向	10	71.4%	
感染機会の時期	10	71.4%	
今回の検査の情報源	11	78.6%	
妊娠の有無	3	21.4%	
性感染症既往歴	1	7.1%	

② 受検者の情報を把握するための質問票などを用いていますか？複数回答

用いていない	1	5.9%	(n=14)
検査前に用いている	11	64.7%	
検査後に用いている	5	29.4%	

③ 職務中の血液暴露事故が受検動機の受検者はいましたか？ (n=14)

わからない、把握していない	6	42.9%
いない	5	35.7%
いる	3	21.4%

→職種	人数		複数回答あり
医療職	12人	92%	(n=6)
福祉職		0%	
美容職		0%	
清掃業		0%	
職業不明	1人	8%	

④ 中学生・高校生の検査希望者への対応はどのようにしていますか？

通常通り行う	10	71.4%	(n=14)
受け付けない	0	0.0%	
検査・告知とも保護者同伴で受付	0	0.0%	
告知のみ保護者同伴で受付	0	0.0%	
14歳未満は保護者同伴、14歳以上は緊急時保護者へ連絡	1	7.1%	
陽性時のみ保護者同伴	1	7.1%	
受検可能だが、保留陽性の場合は対応検討	1	7.1%	
必要に応じて保護者同伴を依頼	1	7.1%	

自治体特設検査施設における HIV 検査体制に関する調査(R3年)

⑤ 日本語のわからない外国籍の人が受検できる仕組みがありますか？

ない	**6**	**42.9%**	**(n=14)**
ある	**8**	**57.1%**	
◆言語			複数回答あり
英語	**5**	**29.4%**	**(n=8)**
中国語	**1**	**5.9%**	
韓国語、朝鮮語	**1**	**5.9%**	
ポルトガル語	**2**	**11.8%**	
スペイン語	**2**	**11.8%**	
ベトナム語	**1**	**5.9%**	
タイ語	**2**	**11.8%**	
タガログ語	**1**	**5.9%**	
ネパール語	**1**	**5.9%**	
ロシア語	**1**	**5.9%**	
◆方法			
問診票、説明書	**1**	**33.3%**	
通訳システム、アプリ	**1**	**33.3%**	
外国語対応できる人	**1**	**33.3%**	

⑥ 他所でのスクリーニング検査結果、郵送検査の結果を持参した受検者はいましたか？

いなかった	**12**	**85.7%**	**(n=14)**
いた	**2**	**14.3%**	

⑦ 受検者が採血に起因する体調不良等で医療機関受診が必要となった事例がありますか？

なかった	**14**	**100.0%**	**(n=14)**
あった	**0**	**0.0%**	

5. HIV検査の実施状況について教えて下さい(通常・即日共に実施している場合は両方の質問にご回答ください)。

① 定期的に行っているHIV検査の実施曜日と実施時間をご記入下さい。

(n=14)

1	通常検査のみ	**4**	**28.6%**	通常検査を行っている施設 4
2	即日検査のみ	**10**	**71.4%**	即日検査を行っている施設 10
3	通常+即日	**0**	**0.0%**	

A	平日昼のみ検査	**1**	**7.1%**
B	平日夜間検査	**2**	**14.3%**
C	土日検査(祝日含む)	**11**	**78.6%**

				検査数	陽性数
1A	通常のみ＋平日昼のみ	**0**	**0.0%**		
1B	通常のみ＋夜間も行っている	**1**	**7.1%**	353	4
1C	通常＋土日検査も	**3**	**21.4%**	11885	94
2A	即日のみ＋平日昼のみ	**1**	**7.1%**	722	1
2B	即日のみ＋夜間も行っている	**1**	**7.1%**	95	1
2C	即日＋土日検査も	**8**	**57.1%**	3482	25
3A	通常＋即日・平日昼のみ	**0**	**0.0%**		
3B	通常＋即日・夜間も行っている	**0**	**0.0%**		
3C	通常＋即日・土日検査も	**0**	**0.0%**		
		14		16,537	125

自治体特設検査施設における HIV 検査体制に関する調査(R3年)

A 通常検査の場合　　4施設

① 実施方法は？　　複数回答　　(n=4)

定期	5	100.0%
イベント	0	0.0%

② 曜日と時間は？　　複数回答　　(n=4)

曜日		
土、日、祝日	3	60.0%
平日	2	40.0%
時間帯		
午前	1	12.5%
午後	4	50.0%
夜間	3	37.5%
月回数		
4回	2	50.0%
年回数	0	0.0%
③ 予約制ですか？		
はい	4	80.0%
いいえ	1	20.0%

④ 結果返却のタイミングは?　　(n=4)

6日以内	0	0.0%
1週間後	4	100.0%

⑤ スクリーニング検査の実施施設は？　　(n=4)

自施設	0	0.0%
他施設	4	100.0%

⑥ 確認検査の方法は？　　(n=4)

WB法のみ	1	25.0%
2次スクリーニング+WB法	0	0.0%
WB法+NAT法	0	0.0%
2次スクリーニング+WB法+NAT法	2	50.0%
紹介状を発行し、受診勧奨	1	25.0%

⑦ 確認検査の実施施設は？　　(n=4)

自施設	0	0.0%
他施設	3	75.0%
→衛生研究所	1	33.3%
→民間検査機関	1	33.3%
→医療機関	1	33.3%

自治体特設検査施設における HIV 検査体制に関する調査(R3年)

B 即日検査の場合　　10保健所

① 実施方法は？　　複数回答　(n=10)

定期	11	100.0%
イベント	0	0.0%

② 曜日と時間は？　　複数回答　(n=10)

曜日		
土、日、祝日	8	72.7%
平日	3	27.3%
時間帯		0.0%
午前	2	15.4%
午後	9	69.2%
夜間	2	15.4%
月回数		0.0%
1回	3	60.0%
2回	1	20.0%
4回	1	20.0%
年回数		
2回	1	20.0%
6回	3	60.0%
10回以上	1	20.0%
③ 予約制ですか？		
はい	10	90.9%
いいえ	1	9.1%

④ 確認検査の結果返却のタイミングは？　　複数回答　(n=10)

6日以内	0	0.0%
1週間後	8	72.7%
1～2週間	1	9.1%
2週間以降	2	18.2%

⑤ スクリーニング検査の方法は？　(n=10)

イムノクロマト法	0	0.0%
ダイナスクリーン	9	90.0%
エスプライン	0	0.0%
不明,未回答	1	10.0%

⑥ スクリーニング検査の実施職員は？　(n=10)

自施設職員	4	40.0%
他施設職員	3	30.0%
委託先業者のスタッフ	1	10.0%
未回答	2	20.0%

⑦ 確認検査の方法は？　(n=10)

WB法のみ	0	0.0%
2次スクリーニング+WB法	2	20.0%
WB法+NAT法	2	20.0%
2次スクリーニング+WB法+NAT法	5	50.0%
その他	1	10.0%

⑧ 確認検査の実施施設は？　(n=10)

自施設	1	10.0%
他施設	8	80.0%
→衛生研究所	3	37.5%
→民間検査機関	1	12.5%
→環境福祉事務所	1	12.5%
→その他(記載なし)	3	37.5%

⑨ 確認検査用　検体は？　(n=10)

迅速検査残血液	5	50.0%
確認検査用再採血	4	40.0%
迅速検査用と同時	0	0.0%
結果通知後	4	40.0%

自治体特設検査施設における HIV 検査体制に関する調査(R3年)

6. 結果説明・相談体制について

(1)スクリーニング検査陰性者への対応　(n=14) 複数回答

	スクリーニング検査陰性時	
◆職種　医師	13	92.9%
保健師	1	7.1%
看護師	1	7.1%
検査技師	0	0.0%
その他(カウンセラー等)	3	21.4%
◆説明資料　あり	10	71.4%
なし	3	21.4%
◆配布資料　あり	13	92.9%
なし	0	0.0%
◆説明方法		
口頭のみ	5	35.7%
結果の書面を渡す	9	64.3%

(2)陽性者への対応　(n=14) 複数回答

	スクリーニング検査陽性時		確認検査で陰性(偽陽性)		確認検査で陽性(真の陽性)	
◆職種　医師	12	85.7%	11	78.6%	13	92.9%
保健師	0	0.0%	0	0.0%	1	7.1%
看護師	1	7.1%	2	14.3%	0	0.0%
検査技師	0	0.0%	1	7.1%	0	0.0%
その他(カウンセラー等)	2	14.3%	2	14.3%	2	14.3%
◆説明資料　あり	11	78.6%	7	50.0%	11	78.6%
なし	0	0.0%	4	28.6%	1	7.1%
◆配布資料　あり	11	78.6%	8	57.1%	12	85.7%
なし	0	0.0%	3	21.4%	0	0.0%
◆説明方法						
口頭のみ	5	35.7%	3	21.4%	2	14.3%
結果の書面を渡す	7	50.0%	7	50.0%	9	64.3%
紹介状を渡す		0.0%		0.0%	1	7.1%
この時点での対応はない	1	7.1%		0.0%		0.0%

⑤ 確認検査陽性者への対応として専門のカウンセラーの派遣は可能ですか？　(n=14) 複数回答

	全体		陽性経験施設(n=12)	
経験あり	7	50.0%	7	58.3%
実績はないが可能	2	14.3%	1	8.3%
できない	2	14.3%	2	16.7%
カウンセラー配置している	2	14.3%	2	16.7%
未回答	1	7.1%	0	0.0%

⑥ 確認検査で陽性の場合、貴施設で発生届を提出していますか？　(n=14) 複数回答

	全体		陽性経験施設(n=12)	
行う	5	35.7%	4	33.3%
行わない	1	7.1%	1	8.3%
必要に応じて	0	0.0%	0	0.0%
医療機関に依頼する	7	50.0%	7	58.3%
未回答	1	7.1%	0	0.0%

→「行う」としている場合、CD4値は記入していますか？　(n=5) 複数回答あり

	全体		陽性経験施設(n=4)	
記入していない	5	100.0%	4	100.0%
後日判明後報告する	0	0.0%	0	0.0%
医療機関に問い合わせ記入	0	0.0%	0	0.0%

→「行わない」「必要に応じて」としている場合、その理由を記載ください。

届出事項に必要な検査や診療のすべてに対応ができるわけではないから。	1
保健所が発生届を提出	1

自治体特設検査施設における HIV 検査体制に関する調査(R3年)

7. 検査・相談の受け入れについて

やむを得ず検査・相談の受け入れを断ったことはありますか？ **(n=14)**

ある	**9**	**64.3%**
定員数を超過したため	9	100.0%
居住地が管外であるため	0	0.0%
繰り返し受検のため	0	0.0%
外国人対応が困難なため	1	11.1%
学生(小・中・高校生)のため	0	0.0%
COVID-19の影響のため	1	11.1%
遅刻してきたため	2	22.2%
ない	**4**	**28.6%**
未回答	**1**	**7.1%**

(n=9) 複数回答

9. その他

①ウェブサイト「HIV検査・相談マップ」をご覧になったことはありますか？

ある	**13**	**92.9%**	**(n=14)**
ない	**0**	**0.0%**	
未回答	**1**	**7.1%**	

②COVID-19によりHIV検査日程が変更・中止になった際に「HIV検査・相談マップ」に修正依頼を送りましたか？

はい	**8**	**57.1%**	(n=14)
いいえ	**1**	**7.1%**	
変更中止なし	**3**	**21.4%**	
未回答	**2**	**14.3%**	

③「HIV検査・相談マップ」は検査相談事業に役立っていると思いますか？

はい	**13**	**92.9%**	**(n=14)**
いいえ	**0**	**0.0%**	
不明	**0**	**0.0%**	
未回答	**1**	**7.1%**	

自治体特設検査施設における 梅毒検査体制に関する調査(R3年)

1. 梅毒検査を実施していますか？ (n=14)

実施している	7件	50.0%
実施していない	7件	50.0%

アンケート送付数	17
回収数	14
回収率	82.4%

「梅毒検査を行っている」と答えた保健所のみ (n=7)

(1)検査体制に関するご質問

① 梅毒検査について、検査費用の自己負担はありますか？ (n=7)

ある(有料)	0	0.0%
ない(無料)	7	100.0%

② 梅毒検査単独でも検査を受けることができますか？ (n=7)

梅毒検査単独でも受けられる	0	0.0%
HIV検査と一緒の場合のみ受けられる	7	100.0%

③ 梅毒検査の実施状況について、教えてください。
(通常・即日共に実施している場合は両方の質問にご回答ください)

(n=7)

通常検査のみで実施	3	42.9%
即日検査のみで実施	4	57.1%

通常検査を行っている	3
即日検査を行っている	4

■検査方法	通常検査	(3件)	即日検査	(4件)
① STS法のみ	0	0.0%	0	0.0%
②TP抗体検査のみ	0	0.0%	2	50.0%
③STS法とTP抗体検査を同時実施	2	66.7%	2	50.0%
④ STS法で陽性の場合、TP抗体検査を追加実施	0	0.0%	0	0.0%
⑤ TP抗体検査で陽性の場合、STS法を追加実施	0	0.0%	0	0.0%
⑥TP抗体検査で陽性の場合、STS法・TP抗体検査を追加実施	1	33.3%	0	0.0%
■結果返却のタイミング				
6日以内	0	0.0%	0	0.0%
1週間後	3	100.0%	0	0.0%
1～2週間	0	0.0%	0	0.0%
2週間後	0	0.0%	0	0.0%
■検査実施施設(職員)				
自施設(職員)	0	0.0%	2	50.0%
他施設(職員)	3	100.0%	1	25.0%

複数回答

自治体特設検査施設における 梅毒検査体制に関する調査(R3年)

(2)検査実績に関するご質問

① 1年間(2021年1-12月)の梅毒検査数・陽性数を教えて下さい。 (n=7)

検査数		陽性数		陽性率
梅毒検査数	14,347	梅毒陽性数	521	3.6%
うちSTS法検査数	4,400	うち STS法陽性数	407	9.3%
うちTP抗体検査検査数	5,047	うちTP抗体検査陽性数	1,317	26.1%

② 梅毒検査が陽性だった場合の対応について、当てはまるもの全てに〇を付けてください。(複数回答可)

結果告知のみ	2	28.6%	(n=7)
受診勧奨	5	71.4%	
医療機関紹介	3	42.9%	
紹介状を発行	2	28.6%	
パートナーの検査勧奨	4	57.1%	
医療機関検索サイトの紹介	1	14.3%	

③ 梅毒検査陰性の証明書を発行していますか? (n=7)

発行していない	7	100.0%
発行している	0	0.0%

④ 梅毒検査の陽性者が医療機関を受診したかどうか分かる仕組みがありますか?(複数回答)

ない	4	57.1%	(n=7)
ある	3	42.9%	
→医療機関からの報告	1	33.3%	(n=3)

厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業
「HIV検査体制の改善と効果的な受検勧奨のための研究」

研究代表者　今村顕史（東京都立駒込病院）
分担研究者　土屋菜歩（東北大学）

COVID-19流行下における HIV検査・相談体制

― 保健所における対応事例と今後の課題 ―

目 次

はじめに ……1

新型コロナ感染症（COVID-19）流行下における
HIV検査数および陽性件数の推移 ……4

「保健所・検査所におけるHIV検査・相談体制と実施状況
および課題に関するアンケート調査」から見えてきたこと ……8

保健所・検査所への聞き取りによる事例…… 12

COVID-19流行時における、MSMを対象としたHIV検査促進の課題
～コミュニティセンターaktaを基点とした取り組みの経験から … 17

北陸における郵送検査実施のためのHIV検査サイトの開発と
実証研究…… 24

さいごに…… 30